

卷号順 総目次



## 卷号順 総目次

### 第 1 号 (1949.6)

福地桜痴と主権論争 (論説)	田 畑 忍 ( 1 )
実存と政治——とくにヤスペルスに定位して—— (論説)	今 井 仙 一 ( 31 )
中国農村に於ける結婚と世代の問題 (上) (論説)	内 田 智 雄 ( 56 )
松井教授著「労働組合法」——ワグナー法よりタフト・ハー トレー法へ—— (アメリカ経済法令研究 2) (新刊紹介)	恒 藤 武 二 ( 83 )

### 第 2 号 (1949.10)

祖先祭祀の相続と承継 (論説)	坂 義 彦 ( 1 )
絶対主義の権力構造について (論説)	岡 本 清 一 ( 23 )
法社会学の課題 (論説)	金 山 正 信 ( 43 )
中国農村に於ける結婚と世代の問題 (下) (論説)	内 田 智 雄 ( 72 )
資本制崩壊過程に於ける金融資本の法的性格(1)——ロシヤ 《亡命会社》発生の社会的基盤—— (資料)	岡 本 善 八 ( 101 )
フォイエールバッハの『反ホッブズ論』(邦訳)——序文及 び第一章——(資料)	加 藤 正 男 ( 107 )
田中誠二博士著『商法総論概説』(書評)	八 木 鉄 男 ( 114 )
田畑忍教授「国家について」(新刊紹介)	小 野 哲 ( 117 )
今井教授著「ベルグソン」(新刊紹介)	恒 藤 武 二 ( 120 )

### 第 3 号 (1949.12)

パドアのマルシリオの政治思想と ラテン・アベロエス主義 (論説)	高 田 武四郎 ( 1 )
アメリカ行政法の成立——殊にその行政裁判について—— (論説)	高 橋 貞 三 ( 29 )
法解釈における社会的制約——法の技術的性格(2)—— (論説)	恒 藤 武 二 ( 51 )
賃貸家屋の解約の申入と借家法第 1 条の 2 にいわゆる「正当の事由」(判例研究)	坂 義 彦 ( 68 )
ベルグソン哲学の性格について——拙著「ベルグソン」に ついて恒藤助教授に答う—— (資料)	今 井 仙 一 ( 76 )

## 資本制崩壊過程に於ける金融資本の法的性格 (2)

——ロシヤ《亡命会社》の法人性——(資料)

岡本善八 (81)

家族生活の実態と家族法——内田智雄教授著「中国  
農村の家族と信仰」——(書評)

金山正信 (95)

田畑忍博士著「憲法学」(新刊紹介)

山本浩三 (100)

## 第4号 (1950.3)

陸羯南の政治思想 (論説)

田畑忍 (1)

ニイチェの政治思想 (論説)

今井仙一 (39)

二つの慣習法理論(1) (資料)

金山正信 (70)

川島教授著『所有権法の理論』(書評と紹介)

加藤正男 (83)

田畑忍博士著「憲法学の基本問題」(新刊紹介)

恒藤武二 (88)

## 第5号 (1950.7)

明治憲法草案起草者と其の国家思想 (論説)

田畑忍 (1)

イギリス議会政治の発達——比較憲法の一環として——  
(論説)

高橋貞三 (34)

アウグスティヌスの国家の定義と正義の概念 (論説)

高田武四郎 (59)

マキアヴェリズムについて (論説)

今井仙一 (71)

日本における絶対王政の成立と明治維新当時の  
会議制について (論説)

岡本清一 (97)

中国の下級裁判所に就て——河北省順義県承審処を中心  
として—— (論説)

内田智雄 (120)

ルソーの社会契約説について (論説)

恒藤武二 (149)

英古代土地法について——土地法の史的考察の一——  
(論説)

坂義彦 (169)

Common Law の性格 (論説)

金山正信 (196)

アメリカ法に於ける「外国会社」について (論説)

岡本善八 (221)

近代的所有権の成立過程に関する一考察——フランス革命  
における土地所有の二問題——(論説)

加藤正男 (244)

国会主権論 (資料)

山本浩三 (267)

## 第6号 (1950.11)

華北農村家族に於ける祖先祭祀の意義 (論説)

内田智雄 (1)

刑事責任の構造 (論説)

秋山哲治 (23)

明治憲法草案起草者とその国家思想(2) (論説)	田 畑 忍 (45)
ディドロ「自然法」(訳)(資料)	恒 藤 武 二 (74)
イギリス民法における最近の改革問題——法律改正委員会 をめぐって——(資料)	加 藤 正 男 (78)
ロシヤ《亡命会社》の法人性(3・完)(資料)	岡 本 善 八 (88)
田畑忍教授「政治学概論」(書評)	岡 田 良 夫 (97)

## 第 7 号 (1951.1)

ドイツ民主共和国(東ドイツ)憲法とドイツ 連邦共和国(西ドイツ)基本法との対比(論説)	高 橋 貞 三 (1)
私法原理の思想的基盤について——序考——(論説)	金 山 正 信 (25)
合手制(Gesamthand)と民法の組合(1)(論説)	服 部 栄 三 (48)
明治憲法草案起草者とその国家思想(3・完)(論説)	田 畑 忍 (63)
家屋の全部明渡の請求に対する一部明渡の 判決と民訴第186条(借家法第1条の2にいわゆる 正当の事由)(判例研究)	坂 義 彦 (91)
P. A. Sorokinの平和計画論について(研究覚書)	小 野 哲 (99)
権利本質論——素描——(研究覚書)	加 藤 正 男 (111)
新カント学派、特にラスク及びケルゼンと 自然法論(1)(研究覚書)	八 木 鉄 男 (120)
ルソー『社会契約論』草稿(抄訳1)(研究覚書)	恒 藤 武 二 (127)

## 第 8 号 (1951.3)

婚姻の届出について(論説)	坂 義 彦 (1)
中国農村家族における分家事由の一考察(論説)	内 田 智 雄 (17)
フランスに於ける手形裏書の成立と推移(論説)	岡 本 善 八 (38)
合手制(Gesamthand)と民法の組合(2・完)(論説)	服 部 栄 三 (59)
地方公務員法と地方自治(資料)	高 橋 貞 三 (72)
新カント学派、特にラスク及びケルゼンと 自然法論(2・完)(資料)	八 木 鉄 男 (79)
資本論における所有権と契約——売買・消費貸借および借地 ——(資料)	加 藤 正 男 (90)
文化創造の自由と物質生活における統制——今井仙一教授 の新著「政治哲学の諸問題」の紹介——(書評)	岡 本 清 一 (101)

**第9号 (1951.7)**

- ジェームズ哲学と政治的世界 (論説) 今井 仙一 (1)
- 株主の差止請求権——米国法を参酌して——(論説) 島本 英夫 (32)
- 行政事務再配分の方角——「行政事務再配分に関する勧告」  
の批判にあわせて——(論説) 高橋 貞三 (50)
- 日本地方自治制の創案者アルバート・モッセの  
思想とその批判(1)——日本地方行政におけるプロシ  
ヤ主義研究の一節——(論説) 吉川 末次郎 (72)
- 法律制度とその社会的構造——レンナーの所有権・労働契約  
論をめぐって——(論説) 加藤 正男 (91)
- 国際政治の構造と変革——E. H. カーの国際政治学の紹介——  
(資料) 川端 末人 (114)
- ルソー『社会契約論』草稿 (抄訳2・完) (資料) 恒藤 武二 (123)
- 教養科目としての法学——高橋貞三博士著「法学」の紹介——  
(新刊紹介) 金山 正信 (133)

**第10号 (1951.12)**

- 近世後期に現れた三種の国家思想 (上) (論説) 田畑 忍 (1)
- 国家ならびに政治についての一考察 (論説) 今井 仙一 (28)
- 階級・権力および国家に関するノート (論説) 岡本 清一 (53)
- 国際政治の概念について (論説) 高橋 信司 (79)
- 行政争訟について——訴願を中心として——(論説) 高橋 貞三 (112)
- 中国農村における土地の『先買権』について(上)(論説) 内田 智雄 (134)
- ドイツ近代商法学の樹立者としてのハインリッヒ・  
トェール(Heinrich Thöl) (論説) 服部 栄三 (163)
- 米国法における投資者保護制度——特に青空法及び証券法  
について——(論説) 岡本 善八 (184)
- 資本制的所有権の社会的構造——レンナーの私法制度論によ  
せて・その3——(論説) 加藤 正男 (211)
- 借家法第1条ノ2にいわゆる「正当の事由」(判例研究) 金山 正信 (233)
- 不法占有者と民法第177条の「第三者」(判例研究) 金山 正信 (241)

**第11号 (1951.12)**

- パウンドの法社会学について (論説) 金山 正信 (1)

フランスにおける労働協約法の発展に関する一考察 ——労働運動史との関聯において—— (論説)	恒藤武二 (19)
刑法に於ける過失責任の特質と本質 (論説)	秋山哲治 (42)
法哲学における相対主義について——ケルゼンの相対主義 とラードブルッフ—— (論説)	八木鉄男 (64)
階級・権力および国家にかんするノート (下) (論説)	岡本清一 (84)
日本地方自治制の創案者アルバート・ モッセの思想とその批判 (2・完) ——日本地方行政に おけるプロシヤ主義研究の一節—— (論説)	吉川末次郎 (108)
判例にあらわれた生産管理 (判例研究)	高橋貞三 (132)
農地買収による所有権移転登記回復と 農調法4条 (判例研究)	加藤正男 (145)
二つの国際社会観 (資料)	高橋悠 (149)
<b>第12号 (1952.2)</b>	
人種と人格——政治社会学の一断片—— (論説)	小松堅太郎 (1)
国際政治学の可能性 (上) (論説)	高橋信司 (31)
会社の定款について (論説)	服部栄三 (49)
外国会社清算に関する一考察——ロシア会社清算を手懸り として—— (論説)	岡本善八 (73)
近世後期に現れた三種の国家思想 (中) (論説)	田畑忍 (99)
債務者の履行遅滞中に事情が変更した場合と 事情変更の原則の適用 (判例研究)	金山正信 (109)
ギュルヴィッチの法社会学 (資料)	恒藤武二 (117)
<b>第13号 (1952.4)</b>	
アメリカ成文法上の議決権信託制度 (論説)	島本英夫 (1)
行政事件訴訟について (論説)	高橋貞三 (20)
社会における主体と基体との相関について——一つの方法 論的試論—— (論説)	今井仙一 (41)
権力の主体とその力体性——権力基礎論のための序論—— (論説)	小野哲 (69)
中国農村における土地の『先買権』について (下) (論説)	内田智雄 (92)
国際政治学の可能性 (中) (論説)	高橋信司 (116)

盗取された他地払の送金小切手と悪意又は  
重大な過失(判例研究)

岡本善八(139)

#### 第14号(1952.8)

政治と神話(論説)

小松堅太郎(1)

再軍備論議における盲点の究明——平和論及び再軍備論  
の限界——(論説)

田村徳治(31)

ゴールドシュミットの商法論(1)(論説)

服部栄三(63)

刑法解釈における社会通念の意義(論説)

秋山哲治(81)

パウンドの法社会学について(承前)(論説)

金山正信(100)

国際政治学の可能性(下)(論説)

高橋信司(129)

賃貸人の承諾のない転貸借と賃貸人の所有権に  
基く返還請求(判例研究)

金山正信(144)

農調法にいう「特別事由による一時賃貸借」(判例研究)

加藤正男(150)

デイドロ「政治的権威」(訳)(資料)

恒藤武二(157)

民本主義論議(資料)

小松堅太郎(164)

共同執筆の「法学入門」を読んで(書評)

高橋貞三(166)

仁井田陸「中国の社会とギルド」(書評)

内田智雄(169)

竹田先生古稀記念「商法の諸問題」を読む(書評)

岡本善八(173)

#### 第15号(1952.11)

歴史法学における歴史的方法(論説)

服部栄三(1)

共同相続における遺産の管理(論説)

谷田貝三郎(27)

アメリカ株式法上の議決代理人(論説)

島本英夫(50)

外国会社に関する諸問題——わが国法上の地位——(論説)

岡本善八(68)

農地法における農地行政(論説)

高橋貞三(88)

漢書刑法志にあらわれた刑罰思想(論説)

内田智雄(112)

政治的世界における主体・基体・構造について(論説)

今井仙一(140)

民族と階級(論説)

小松堅太郎(167)

組合員を解雇するためにした会社の解散と  
不当労働行為(判例研究)

恒藤武二(204)

フランス革命における土地法と農民(資料の抄訳)

——「近代的所有権の成立過程に関する一考察」の追録——  
(資料)

加藤正男(211)



- 仁井田陞「中国農村の家族」(書評) 内田智雄 (218)
- 平和主義の精神——田畑忍著「戦争と平和の政治学」——  
(書評) 岡本清一 (222)

## 第16号 (1953.3)

- パウンドの社会的利益の理論について (論説) 金山正信 (1)
- 刑法における過失の違法性と責任性 (論説) 秋山哲治 (26)
- 農地法批判 (論説) 加藤正男 (46)
- 憲法第96条の解釈 (論説) 田畑忍 (59)
- フランクローベディ  
百科全書に表れた政治思想——ディドロおよびジョクール  
を中心として—— (論説) 恒藤武二 (67)
- 社会の機能と機能主体——権力基礎論のための外論——  
(論説) 小野哲 (93)
- 会社の目的の範囲・会社の目的遂行に必要な行為を  
定める基準・会社の目的遂行に必要であり得  
る行為の一事例 (判例研究) 岡本善八 (107)
- ヌスパウム「国際法史」——特に19・20世紀の学説——  
Arthur Nussbaum: A Concise History of the  
Law of Nations 1947. PP. 292. (資料と紹介) 高橋悠 (113)
- 権利濫用認定の標識 (資料と紹介) 笹井昭夫 (125)
- 国際社会に於ける秩序と平和の基本構造——ハンス・J・  
モーゲンソウの『科学的人間対権力政治』—— (紹介) 川端末人 (139)
- 丸山真男著「日本政治思想史研究」(書評) 前田一良 (149)
- 島本英夫博士著「手形・小切手法要綱」を読んで (書評) 岡本善八 (154)
- 石井良助著「日本不動産占有論」(書評) 井ヶ田良治 (157)

## 第17号 (1953.5)

- スターリニズムについて (論説) 今井仙一 (1)
- 世界政治とマキャベリズム (論説) 小松堅太郎 (32)
- 中国の分家制度と「家」の性格(上) (論説) 内田智雄 (62)
- 商法の再改正 (論説) 島本英夫 (79)
- 農地法批判(続) (論説) 加藤正男 (97)
- 純粹法学と法社会学 (論説) 八木鉄男 (115)
- 交換手形と対価関係 (判例研究) 岡本善八 (138)

賃貸借契約の当事者の一方に著しい不信行為があっ

た場合の契約の解除と催告の要否 (判例研究)

金山 正 信 (143)

日本国憲法改正の原理 (資料)

芳野 勝 (149)

仁井田陸著「中国法制史」(書評)

内田 智 雄

金山 正 信 (158)

服部 栄 三

### 第 18 号 (1953.7)

民主主義的計画化と自由——政治社会学の一課題——

(論説)

小松 堅太郎 (1)

日本における近代外交の序曲 (論説)

高橋 信 司 (31)

中国の分家制度と「家」の性格 (中) (論説)

内田 智 雄 (69)

所有権移転登記前の賃貸借解約の効力その他

——遡及買収・賃借権回復の除外規定, 地主の「自作を相当とする」事由, 農地改革違憲訴訟——(判例研究)

加藤 正 男 (96)

ドイツ商法の学問的取扱及びこの雑誌の目的について

(ゴールドシュミット)(訳)(資料)

服部 栄 三 (105)

ソ連邦法における外国人及び外国会社について (資料)

岡本 善 八 (123)

村中入会の成立 (資料)

井ヶ田 良 治 (132)

親族法と人間性——谷田貝三郎著『親族法』——(紹介)

金山 正 信 (147)

### 第 19 号 (1953.8)

商法学者ゴールドシュミット素描 (論説)

服部 栄 三 (1)

英国国際私法に於ける当事者自治の原則 (論説)

岡本 善 八 (21)

平等・自由・平和について (論説)

今井 仙 一 (46)

独裁政治の基本問題 (論説)

小松 堅太郎 (78)

政治権力の多元化について——権力基礎論からみた現代  
国家——(論説)

小野 哲 (113)

中国の分家制度と「家」の性格 (下) (論説)

内田 智 雄 (131)

新民法施行前の離婚の際になされた贈与契約の取消  
(判例研究)

谷田貝 三 郎 (157)

「信義に反した行為」の法的意義——小作地の無断転貸が  
「信義=反シタル行為」(農地調整法9条1項)にあたら  
ない—事例——(判例研究)

加藤 正 男 (163)

フランス法における争議権 (資料)

恒藤 武 二 (169)

**第 20 号 (1953.11)**

政治学と政治哲学との区別について (論説)	今 井 仙 一 ( 1 )
遺産分割の法理——共同相続財産の清算手続として—— (論説)	谷田貝 三 郎 ( 29 )
国際私法における金銭債務——英国法を中心として—— (論説)	岡 本 善 八 ( 47 )
独裁政治の基本問題 (承前) 第三部 無産者独裁の 理論と現実——独裁と民主主義—— (論説)	小 松 堅太郎 ( 67 )
ゴールドシュミットの商法論 (2・完) (論説)	服 部 栄 三 ( 95 )
賃貸借解約申入後の事情と借家法第1条ノ2にいわゆる 「正当の事由」 医業を営む者の借家法上の地位 (判例研究)	金 山 正 信 (118)
賃貸借の合意解約と地方長官の許可——改正前農地調整法 の合意解約と知事の許可の要否 (同法9条3項) —— (判例研究)	加 藤 正 男 (125)
立法条約の諸問題 (資料)	高 橋 悠 (132)
オルガ・ラング著 小川修訳「中国の家族と社会」(1) (書評)	内 田 智 雄 (141)

**第 21 号 (1954.1)**

By-laws について (論説)	島 本 英 夫 ( 1 )
自由考 (論説)	小 松 堅太郎 ( 23 )
権力基礎論の構成について——政治学の方法としての 権力論—— (論説)	小 野 哲 ( 52 )
一、間貸が民法第612条の転貸と認められる一事例 二、無断間貸を理由とする賃貸借の解除が権利濫用に あたらない一事例 (判例研究)	金 山 正 信 ( 67 )
英国法における外国会社 (資料)	岡 本 善 八 ( 72 )
災害の法律と政治——南山城水害報告—— (資料)	加 藤 正 男 ( 79 )
植木枝盛蔵書目録 (同志社図書館蔵)	井ヶ田 良 治 ( 90 )

**第 22 号 (1954.3)**

多元的国家論とマルキシズム——ラスキの学説を通して—— (論説)	小 松 堅太郎 ( 1 )
プロパガンダについて (論説)	今 井 仙 一 ( 24 )

論語にあらわれた刑に関する思想 (論説)	内田智雄 (56)
Charter の記載事項 (論説)	島本英夫 (79)
社宅の賃貸借の解約申入に正当事由ある一事例 (判例研究)	金山正信 (95)
若きサヴィニーの方法論について (上) (資料)	服部栄三 (99)

**第 23 号 (1954.5)**

孟子の法と刑の思想 (論説)	内田智雄 (1)
英国国際私法の形成過程——Sack教授の所説を中心 として—— (論説)	岡本善八 (21)
政治の本質 (論説)	小松堅太郎 (57)
日本に於ける近代政治思想の前提 (上) (論説)	高橋信司 (89)
離婚により親権を単独に行使している父又は母の死亡と 後見の開始 (判例研究)	谷田貝三郎 (115)
登記簿上の名義人に対する農地買収の効力 (判例研究)	加藤正男 (121)
読書余録 (資料)	今井仙一 (125)

**第 24 号 (6巻2号) (1954.7)**

イギリス地方自治制の発達(1) (論説)	高橋貞三 (1)
争議権についての試論 (論説)	恒藤武二 (22)
計画化と自由再論 (論説)	小松堅太郎 (39)
日本における近代政治思想の前提 (下) (論説)	高橋信司 (63)
民法附則第4条但し書の意義——応急措置法施行前離縁をした 養子の直系卑属と養親との新法施行後の親族関係—— (判例研究)	谷田貝三郎 (85)
民法177条と農地買収——最高裁判所の判例を中心として—— (資料)	加藤正男 (92)
若きサヴィニーの方法論について (下) (資料)	服部栄三 (101)
ユージンのパシュカーニス批判とソヴェト法理論の 発展 (資料)	杉江栄一 (118)
オルガ・ラング著 小川修訳「中国の家族と社会」(2) (書評)	内田智雄 (130)

**第 25 号 (6巻3号) (1954.12) (法学の諸相・島本教授還暦記念論集)**

身分法における普遍性と特殊性——ポアソナードの身分法論 の回顧—— (論説)	谷田貝三郎 (1)
---	-----------

農村と相続——私法学会の調査を基点として——（論説）	加藤正男	(29)
近代株式会社法の基礎視点とその機能（論説）	服部栄三	(57)
国際契約における不法性について（論説）	岡本善八	(87)
学問の自由権——（日本国憲法第23条の解釈）——（論説）	田畑忍	(117)
期待可能性における類型的附随事情の意義（論説）	秋山哲治	(133)
略歴及び著作物		(155)
<b>第26号（6巻4号）（1954.12）</b>		
社会の層化現象の本質構造（論説）	小松堅太郎	(1)
孔子および孟子の兵戦思想（論説）	内田智雄	(22)
企業自体の理論と社会化について(1)（論説）	服部栄三	(47)
法実証主義批判—序説—法哲学の現代的課題との関連 において——（論説）	八木鉄男	(66)
民法177条と農地買収(2)——判例を中心として——（資料）	加藤正男	(86)
中国新民主主義革命史に関する一資料（資料）	大隅逸郎	(93)
田畑忍博士著「憲法改正論」（書評）	芳野勝	(114)
<b>第27号（6巻5号）（1955.2）（政治学の諸相・小松教授還暦記念論集）</b>		
政治と道徳（論説）	今井仙一	(1)
集団安全保障にかんするソ同盟および中国の構想（論説）	岡倉古志郎	(33)
政治を効果と規定する意義について（論説）	小野哲	(77)
中華人民共和国憲法（論説）	田畑忍	(95)
荀子の兵戦論（論説）	内田智雄	(129)
社会学教育の一考察——我が国の新制大学を中心として—— （論説）	青井厚	(149)
近代化と「社会事業」（論説）	伊藤規矩治	(183)
略歴及び著作物		(203)
<b>第28号（6巻6号）（1955.3）</b>		
違憲の条約の憲法論的考察（論説）	田畑忍	(1)
自己株式の買入（論説）	島本英夫	(16)
民法改正の主要問題——家族法の再改正について—— （論説）	加藤正男	(35)
企業自体の理論と社会化について(2)（論説）	服部栄三	(46)

現実の世界政治 (論説)	小松 堅太郎 (67)
家族制度復活論をめぐって——1954年末まで—— (資料)	外崎 光 廣 (97)
高橋貞三博士「行政法論」 (書評)	山本 浩 三 (112)
The Importance of Sovereignty and the Constitution of Japan (資料)	田畑 忍 (1)

### 第 29 号 (7巻1号) (1955.5)

いわゆる「戦争の不可避性」にかんする諸問題—— 「スターリン論文」第6章の解釈をめぐって—— (論説)	岡倉 古志郎 (1)
帝国主義の本質 (論説)	小松 堅太郎 (28)
包括一罪における一体的個別性の観念について—— 罪数理論の一側面として—— (論説)	秋山 哲 治 (56)
農地改革と憲法——最近の判例にあらわれた—— (論説)	加藤 正 男 (77)
荀子の礼と法の思想 (論説)	内田 智 雄 (98)
未成年の養子のため民法応急措置法施行前に開始した 後見は同法施行当時右未成年者に実父母ある場 合同法の施行により終了するか (判例研究)	谷田貝 三 郎 (120)
権力の概念規定について——岡本清一教授の所説と「国家と 法の理論」その他の権力規定をめぐって—— (資料)	大隅 逸 郎 (125)
アン・ヴァン・ワイネン・トーマス「共産主義対国際法」 (書評)	高橋 悠 (136)

### 第 30 号 (7巻2号) (1955.7)

優先株 (論説)	島本 英 夫 (1)
教育と裁判との一焦点(1)——旭ヶ丘事件第一審判決の批判 を中心として—— (論説)	加藤 正 男 (27)
圧力政治論——圧力集団の院外運動—— (論説)	小松 堅太郎 (47)
マヌ法典にあらわれた婚姻 (論説)	田辺 繁 子 (82)
ドイツ民主主義とワイマール共和制——共和制の成立を めぐる序説的考察—— (論説)	杉江 栄 一 (106)
「憲法論」李達著(訳) (資料)	大隅 逸 郎 (123)
「人権ならびに市民権の宣言」の諸草案(1)(訳) (資料)	恒藤 武 二 (141)

### 第 31 号 (7巻3号) (1955.9)

民主社会主義の行動原理 (論説)	小松 堅太郎 (1)
「平和的共存」についてのノート (論説)	岡倉 古志郎 (29)

荀子の刑罰論 (論説)	内田智雄 (49)
企業自体の理論と社会化について(3) (論説)	服部栄三 (71)
教育と裁判との一焦点 (2・完)——旭ヶ丘中学事件第一審 判決の批判を中心として—— (論説)	加藤正男 (93)
サヴィニー「現代ローマ法体系」(1)(訳)(資料)	服部栄三 (121)
	高橋悠
「人権ならびに市民権の宣言」の諸草案(2)(訳)(資料)	山本浩三 (132)
ジャー・サナコーエフ「新しいタイプの国際関係」 (紹介と書評)	岡倉古志郎 (137)
田畑忍著「違憲・合憲の法理」 (紹介と書評)	山本浩三 (141)

## 第 32 号 (7巻4号) (1955.10)

現代の混沌の超克について (論説)	今井仙一 (1)
文化の形成——その一般的考察—— (論説)	小松堅太郎 (32)
企業自体の理論と社会化について (4) (論説)	服部栄三 (53)
家族制度の多義性——民法典論争より家族制度復活論迄—— (論説)	外崎光廣 (74)
不動産の共有関係を生じさせた子の認知と第三者の 所有権取得 (判例批評)	谷田貝三郎 (95)
ロベスピエールの人権宣言草案 (訳)(資料)	恒藤武二 (101)
統計にあらわれた離婚の実態——昭和25年から29年までの 京都市における—— (資料)	加藤正男 (107)

## 第 33 号 (7巻5号) (1956.1)

中国の法制史について——中田薫博士の『律令法系の発達に ついて』補考」にちなんで—— (論説)	内田智雄 (1)
企業自体の理論と社会化について (5・完) (論説)	服部栄三 (17)
登録を受けた自動車の所有権取得と民法第192条 (判例研究)	谷田貝三郎 (45)
経済関係罰則ノ整備ニ関スル法律第2条にいう「其ノ職務」 の意義 (判例批評)	秋山哲治 (52)
結婚の破綻と離婚に関する最近の判例 (資料)	加藤正男 (60)
ラードブルッフと自然法 (資料)	八木鉄男 (70)
G・ルカーチのマックス・ウェーバー批判について (資料)	君村昌 (84)

自由フランスから第四共和国までの基本法 (1) (訳) (資料)	山本浩三 (97)
サヴィニー「現代ローマ法体系」(2)(訳)(資料)	服部栄三 (103)
高橋悠	
統治行為について(資料)	西尾昭 (113)
古島敏雄氏の「中国農村慣行調査第一巻を読みて」 に答えて(書評)	内田智雄 (125)

### 第34号(7巻6号)(1956.3)

「世界政治学」の確立のために(1)(論説)	岡倉古志郎 (1)
政治の理解に関する六つの視角(論説)	小野哲 (19)
保守主義の政治論理に対する一つの批判——蠡山教授の 「民主主義の弁証法」について——(論説)	田畑忍 (48)
財団法人の資金貸付行為が無効となる事例(判例研究)	谷田貝三郎 (61)
宿直および日直について(資料)	恒藤武二 (65)
朝鮮戦争の勃発要因について(研究ノート)(資料)	岡倉古志郎 (73)
農地改革と憲法(その2)——「正当な補償」以外の諸問題—— (資料)	加藤正男 (78)
ジロンド派人権宣言案と山嶽派の人権宣言(訳)(資料)	樋口謹一 (83)
自由フランスから第四共和国までの基本法(2)(訳) (資料)	山本浩三 (90)

### 第35号(8巻1号)(1956.5)

19世紀中葉におけるドイツ商法学界の趨勢(論説)	服部栄三 (1)
名義書換代理人(論説)	島本英夫 (23)
政党の指導者(1)——民主主義逆転の法則——(論説)	小松堅太郎 (42)
賃貸人の承諾を得ないで賃貸借の譲渡または賃貸物の 転貸が行われたにかかわらず契約の解除が許さ れない場合(判例研究)	金山正信 (70)
商標法違反事件——併合罪か包括一罪か——(判例研究)	秋山哲治 (79)
解雇予告除外認定取消の訴を起せるか否か、ならびに 違法な認定につき、国に賠償を求め得るか ——東京寝台事件, 東京地裁 昭和30年(行)第85号 昭和30年12月22日決定——(判例研究)	恒藤武二 (87)
戦後の判例にあらわれた地役権(資料)	加藤正男 (94)



自由フランスから第四共和国までの基本法 (3) (訳)  
(資料)

山本浩三 (97)

呉家麟編著「憲法とはなにか」(抜萃訳)(資料)

大隅逸郎 (109)

### 第 36 号 (8巻2号) (1956.7)

地方自治制の沿革(1) (論説)

高橋貞三 (1)

世界政治の構造 (上) —— 「世界政治学」 の確立のために  
(2) —— (論説)

岡倉古志郎 (24)

政党の指導者 (つづき) (論説)

小松堅太郎 (41)

「絶対的離婚原因」に関する裁判上の諸問題——最近の  
ケースを中心として—— (論説)

加藤正男 (71)

ヴァージニア植民地の法と宗教 (論説)

金山正信 (85)

親権者の変更を相当とする一事例 (判例研究)

谷田貝三郎 (115)

「ソヴェトに政治学はない」という意見をめぐって(1)  
(資料)

小野哲 (122)

マックス・ウェーバーにおける官僚制と議会制 (資料)

君村昌 (130)

自由フランスから第四共和国までの基本法 (4) (訳)  
(資料)

山本浩三 (147)

フラストレイションについて——わが国の判例との比較  
考察—— (資料)

細川隆夫 (152)

### 第 37 号 (8巻3号) (1956.9)

政党の組織——デュヴェルジェの見解を通して—— (論説)

小松堅太郎 (1)

世界政治の構造 (中) —— 「世界政治学」 の確立のために  
(3) —— (論説)

岡倉古志郎 (28)

ルノー (Renaud) と近代株式会社法学(1) (論説)

服部栄三 (63)

地方自治制の沿革(2) (論説)

高橋貞三 (85)

ピルグリム・ファーザスの法思想——その法と宗教——  
(論説)

金山正信 (122)

判例農地法の基本問題(1)——自作農創設について (1) ——  
(論説)

加藤正男 (151)

動産の売渡担保契約と債権者の所有権取得の対抗力の  
有無 (判例研究)

谷田貝三郎 (168)

一筆の土地の一部を除外して売買がなされたと認むべき  
一事例 (判例研究)

金山正信 (175)

近代日本における親権法の変遷と女性の地位 (資料)	外崎光廣 (181)
自由フランスから第四共和国までの基本法 (5) (訳) (資料)	山本浩三 (200)

### 第 38 号 (8巻4号) (1956.12)

政治的世界の形成原理としての自愛について(1) (論説)	今井仙一 (1)
政党の組織 (つづき) (論説)	小松堅太郎 (34)
世界政治の構造 (下) —— 「世界政治学」の確立のために (4・完) —— (論説)	岡倉古志郎 (67)
土佐藩における憲政思想の前提 —— 近代憲政史上の土佐藩 (1) —— (論説)	高橋信司 (91)
農業資産の遺産分割と給料生活者の農地取得 (判例研究)	谷田貝三郎 (120)
滞納処分による差押登記の後になされた建物の賃貸借と 借家法第1条 (判例研究)	金山正信 (128)
漢書の刑法志(1) (未定稿) (訳注) (資料)	内田智雄 (133)
サヴィニー「現代ローマ法体系」(3) (訳) (資料)	服部栄三 (155)
	高橋悠
太平天国 —— 中国民主革命の序曲 —— (資料)	大隅逸郎 (172)

### 第 39 号 (8巻5号) (1957.1)

婚姻の方式管見 —— アメリカ植民当初の事情など —— (論説)	金山正信 (1)
政治的世界の形成原理としての自愛について(2) (論説)	今井仙一 (22)
代議政治の将来について (論説)	小松堅太郎 (48)
判例農地法の基本問題 (2・完) —— 農地調整を中心 として —— (論説)	加藤正男 (78)
行政事件訴訟における仮処分 (論説)	西尾昭 (106)
未登記建物の譲受人のなす移転登記の請求 (判例研究)	谷田貝三郎 (119)
漢書の刑法志(2) (未定稿) (訳注) (資料)	内田智雄 (124)
自由フランスから第四共和国までの基本法 (6) (訳) (資料)	山本浩三 (139)

### 第 40 号 (8巻6号) (1957.3)

天皇の国事に関する行為 (論説)	田畑忍 (1)
政治論叢 (論説)	小松堅太郎 (15)

アメリカ法上の取締役(1) (論説)	島本英夫 (50)
政治的世界の形成原理としての自愛について(3) (論説)	今井仙一 (70)
『旧約』における所有について (論説)	金山正信 (101)
地方自治法にあらわれた判例について(1) (判例研究)	高橋貞三 (122)
漢書の刑法志(3) (未定稿) (訳注) (資料)	内田智雄 (140)
共同決定権をめぐる最近ドイツの一論議 (資料)	服部栄三 (151)
林野入会に関する若干の問題——特に奈良県吉野郡旧中荘村 入会慣行実態調査の中間報告を中心として—— (資料)	加藤正男 井ヶ田良治 (161) 君村 昌
フランソワ・ジェニーの法律解釈論とその理論的地位(1) (資料)	海原裕昭 (199)

**第 41 号 (9巻1号) (1957.8)**

政党の諸制度(1) (論説)	小松堅太郎 (1)
不平等条約の効力と改廃にかんする憲法論的考察 (論説)	田畑 忍 (34)
判例入会権法の研究序説 (1) ——戦後のケースを中心として —— (論説)	加藤正男 (46)
アメリカ法上の取締役(2) (論説)	島本英夫 (57)
政治的世界の形成原理としての自愛について(4) (論説)	今井仙一 (79)
土佐藩の対外関係と海外認識の発展——近代憲政史上の土 佐藩 (2) —— (論説)	高橋信司 (113)
地方自治法にあらわれた判例について(2) (判例研究)	高橋貞三 (140)
漢書の刑法志(4) (未定稿) (訳注) (資料)	内田智雄 (160)
フランソワ・ジェニーの法律解釈論とその理論的地位 (2・完) (資料)	海原裕昭 (177)

**第 42 号 (9巻2号) (1957.9)**

政治的世界の形成原理としての自愛について(5) (論説)	今井仙一 (1)
政党の諸制度(2) (論説)	小松堅太郎 (28)
憲法解釈学の方法 (論説)	芳野 勝 (59)
地方自治法にあらわれた判例について(3) (判例研究)	高橋貞三 (71)
ブライスの法学方法論——イギリス法哲学史との関連に おいて—— (資料)	八木鉄男 (81)

自由フランスから第四共和国までの基本法(7・完)(訳)

(資料)

山本浩三(98)

漢書の刑法志(5・完)(未定稿)(訳注)(資料)

内田智雄(114)

林野入会の若干の問題(2)(資料)

加藤正男  
井ヶ田良治(130)  
君村昌

#### 第43号(9巻3号)(1957.10)

大衆と政治(論説)

小松堅太郎(1)

政治的世界の形成原理としての自愛について(6)(論説)

今井仙一(31)

代物弁済の予約が公序良俗に反する一事例(判例研究)

金山正信(60)

地方自治法にあらわれた判例(4)(判例研究)

高橋貞三(65)

林野利用に関する若干の問題(3・完)(資料)

加藤正男  
井ヶ田良治(79)  
君村昌

我国不法行為法における違法性理論に関する一考察(資料)古賀哲夫(84)

#### 第44号(9巻4号)(1957.12)

政治的世界の形成原理としての自愛について(7)(論説)

今井仙一(1)

大衆と政治(論説)

小松堅太郎(30)

地方自治法にあらわれた判例について(5)(判例研究)

高橋貞三(62)

夫婦間の扶助請求と権利の濫用——離婚訴訟の提起と扶助請求権——(判例研究)

谷田貝三郎(83)

ニューヨーク大学・1956年の法律年報(資料)

高橋貞三(89)

高橋貞三博士著「地方自治法論」(書評)

芳野勝(95)

#### 第45号(9巻5号)(1958.1)

フランス革命憲法における主権思想(論説)

樋口謹一(1)

庄園制の崩壊過程——室町時代の東寺領太良庄——(論説)

井ヶ田良治(22)

大衆と政治(論説)

小松堅太郎(49)

政治的世界の形成原理としての自愛について(8)(論説)

今井仙一(78)

家事審判法第1項第8号所定の扶養に関する処分の  
範囲(判例研究)

谷田貝三郎(113)

町長解職請求署名簿の署名に関する決定の取消請求事件  
——地方自治法にあらわれた判例について(6)——  
(判例研究)

高橋貞三(123)

わが国における不法行為責任論の動向について(資料)	金原光蔵	(141)
竹田聴洲著「祖先崇拜」——民俗と歴史——(書評)	内田智雄	(151)

## 第46号(9巻6号)(1958.3)

言論自由の法理(論説)	田畑忍	(1)
政党の構成員——デュヴェルジェ説を介して——(論説)	小松堅太郎	(12)
政治的世界の形成原理としての自愛について(9)(論説)	今井仙一	(30)
被解雇者を代表者とする国鉄機関車労組の団体交渉権 (判例研究)	恒藤武二	(63)
直接請求の署名の効力——地方自治法にあらわれた判例につ いて(7)——(判例研究)	高橋貞三	(75)
行政訴訟と立証責任(資料)	西尾昭	(89)
ロベスピエール演説選(1)——1789年9月王の拒否権にたい する反対演説——(資料)	樋口謹一	(102)
フルセウ 漢律拾遺第一巻(書評)	内田智雄	(112)

## 第47号(10巻1号)(1958.5)

法律と政令(1)(論説)	山本浩三	(1)
政治的世界の形成原理としての自愛について(10)(論説)	今井仙一	(17)
政党の構成員——デュヴェルジェ説を介して——(論説)	小松堅太郎	(50)
判例にあらわれた土地所有権の侵害と妨害排除の請求権 について(判例研究)	古賀哲夫	(84)
民法上の組合に類似するものとしてその財産に対し持分 を肯定したことが違法とされた事例(判例研究)	金山正信	(101)
State and Church in Germany today(資料)	Ernst Benz	(1)

## 第48号(10巻2号)(1958.8)

漢書刑法志雜記(論説)	内田智雄	(1)
階級と政党(論説)	小松堅太郎	(17)
政治的世界の形成原理としての自愛について(11)(論説)	今井仙一	(40)
訳注 晋書刑法志(1)(未定稿)(資料)	内田智雄	(74)
第三共和国憲法(訳)(資料)	山本浩三	(91)
Negligence 理論の一断面(資料)	金原光蔵	(97)
英米不法行為法における無過失責任について(資料)	森信輝	(106)

**第 49 号 (10巻3号) (1958.10)**

国際商法における総則的諸問題 (論説)	岡本善八 (1)
政治的世界の形成原理としての自愛について(12) (論説)	今井仙一 (19)
階級と政党 (論説)	小松堅太郎 (52)
占有改定による占有の取得と民法第192条の不適用 (判例研究)	金山正信 (81)
他人の権利の売買と損害賠償 (判例研究)	谷田貝三郎 (89)
訳注 晋書刑法志(2) (未定稿) (資料)	内田智雄 (101)
王政復古の憲法(1) (訳) (資料)	山本浩三 (116)
北岡勲著『イギリス政治哲学の生成と展開』(書評)	樋口謹一 (122)

**第 50 号 (10巻4号) (1959.2) (高橋教授還暦記念論集)**

憲法による行政概念の設定——佐々木惣一博士の見解の 変遷と不変の点について—— (論説)	田畑忍 (1)
法律事項 (論説)	山本浩三 (15)
国の不法行為責任 (論説)	西尾昭 (33)
日本国憲法第9条の理論的解釈三態——佐々木・田畑・ 田村博士の所説—— (論説)	小野哲 (57)
オースティンと自然法 (論説)	八木鉄男 (77)
転換社債 (論説)	島本英夫 (101)
戦後農地法の変遷と問題点 (論説)	加藤正男 (117)
自愛の問題と人間学の諸類型 (論説)	今井仙一 (139)
中間階級と諸政党 (論説)	小松堅太郎 (163)
略歴及び著作	(197)

**第 51 号 (10巻5号) (1959.2)**

干渉の概念 (論説)	高橋悠 (1)
階級と政党 (論説)	小松堅太郎 (15)
政治的世界の形成原理としての自愛について (13・完) (論説)	今井仙一 (51)
イギリス普通法における使用者責任について (論説)	古賀哲夫 (74)
特定物の売買と所有権移転の時期 (判例研究)	金山正信 (95)
訳注 晋書刑法志(3) (未定稿) (資料)	内田智雄 (102)
王政復古の憲法(2・完) (訳) (資料)	山本浩三 (121)

アメリカ法における Mortgage について (資料)	竹ノ内 治 美 (128)
二つの政治学書 (書評)	小 松 堅太郎 (143)
<b>第 52 号 (10卷6号) (1959.3)</b>	
憲法第39条前段後句の法意 (論説)	田 畑 忍 ( 1 )
階級と政党 (論説)	小 松 堅太郎 ( 15 )
夜警の業務が刑法第117条ノ2の業務に該当するか (判例研究)	秋 山 哲 治 ( 30 )
七月王政の憲法 (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 36 )
アメリカにおける行政組織論の動向(1) (資料)	君 村 昌 ( 43 )
トルコの印象(1) (資料)	高 橋 貞 三 ( 51 )
両議院の国政調査権に関する憲法論的一考察(その1)(資料)	土 井 多賀子 ( 58 )
労働組合の訴訟当事者適格について——判例を中心 として—— (資料)	吉 井 正 明 ( 82 )
不法行為責任における事故傾向——アメリカ事故法に関する 一考察—— (資料)	金 原 光 蔵 (100)
<b>第 53 号 (11卷1号) (1959.6)</b>	
通説について——法解釈に於ける通説の問題—— (論説)	田 畑 忍 ( 1 )
外国会社に関する立法・判例の変遷(1) (論説)	岡 本 善 八 ( 13 )
判例契約法に関する一つのコメント(1)——契約法総則 (1)—— (資料)	加 藤 正 男 ( 36 )
第二共和国憲法 (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 46 )
国際法律家連絡協会の要請に答えた「憲法と条約」 の関係をめぐる諸問題にかんする私見 (資料)	田 畑 忍 ( 58 )
トルコの印象(2) (資料)	高 橋 貞 三 ( 63 )
事情の変更と契約の解釈——Hans Smit氏契約失効論の 紹介—— (資料)	本 城 武 雄 ( 72 )
<b>第 54 号 (11卷2号) (1959.9)</b>	
自由と鉄鎖 (論説)	今 井 仙 一 ( 1 )
公務員の抵抗の責務について (論説)	田 畑 忍 ( 31 )
外国会社に関する立法・判例の変遷(2) (論説)	岡 本 善 八 ( 45 )
勢力均衡論について——モーゲンソーおよびオルガンスキー の所説の検討—— (資料)	杉 江 栄 一 ( 66 )

第二帝政の憲法(1) (訳) (資料)	山本浩三 (88)
判例契約法に関する一つのコメント(2)——契約法総則 (2・完) —— (資料)	加藤正男 (98)
アメリカにおける行政組織論の動向(2・完) (資料)	君村昌 (105)
アメリカ法における Mortgage について(2) (資料)	竹ノ内治美 (119)

### 第 55 号 (11巻3号) (1959.11)

フランス革命憲法における半直接民主政 (論説)	樋口謹一 (1)
魏律「序略」についての二・三の問題 (上) ——滋賀秀三 氏の「曹魏新律十八篇の篇目について」に寄せて—— (論説)	内田智雄 (15)
外国会社に関する立法・判例の変遷(3・完) (論説)	岡本善八 (37)
同一建物につき二重に登記の存する場合に先になされた 登記が無効と認められた事例 (判例研究)	金山正信 (54)
訳注 晋書刑法志(4) (未定稿) (資料)	内田智雄 (60)
第二帝政の憲法(2・完) (訳) (資料)	山本浩三 (77)

### 第 56 号 (11巻4号) (1960.1) (故小松堅太郎教授追悼号)

階級と政党 (5・完) (遺稿) (論説)	小松堅太郎 (1)
小松教授の共益社会論について (論説)	高田保馬 (31)
戦争と政治——クラウゼヴィッツの『戦争論』を中心として—— (論説)	今井仙一 (56)
政治における決定要因——フランス革命を手掛りとする数学的 一試論—— (論説)	樋口謹一 (84)
高級公務員の養成と大学教育——アメリカにおける三つの 主張—— (論説)	君村昌 (107)
1791年の憲法 (1) (訳) (資料)	山本浩三 (124)
故小松堅太郎教授略歴および著作目録	(137)

### 第 57 号 (11巻5号) (1960.2)

魏律「序略」についての二、三の問題 (下) ——滋賀秀三 氏の「曹魏新律十八篇の篇目について」に寄せて—— (論説)	内田智雄 (1)
最高裁判所の砂川判決について——安保条約第3条に基く 行政協定に伴う刑事特別法違反事件に於ける最高裁判所 判決の違憲性について—— (論説)	田畑忍 (24)
瑕疵ある登記申請に基いてなされた登記の効力 (判例研究)	金山正信 (45)



保険会社の支店次長の千着分の服地買受と表見代理の 成否 (判例研究)	岡 本 善 八 ( 56 )
米州における不干渉の原則(1)——A・J・トーマス教授夫妻 著「不干渉」を中心として—— (資料)	高 橋 悠 ( 62 )
1791年の憲法(2・完) (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 72 )
Trespass (その1)——アメリカ不法行為法覚書—— (資料)	金 原 光 蔵 ( 86 )
訳注 晋書刑法志(5) (未定稿) (資料)	内 田 智 雄 ( 94 )
「保守主義研究」(北岡博士)と「比較政治制度」 (野村教授)について (書評)	田 畑 忍 ( 105 )
<b>第 58 号 (11巻6号) (1960.3)</b>	
「自然法の再生」とイギリス法理学 (論説)	八 木 鉄 男 ( 1 )
統・戦争と政治——トライチュケの『政治学』を中心 として—— (論説)	今 井 仙 一 ( 22 )
封建的村落共同体と村掟(1)——丹波国保津村五苗集団の村 落支配—— (論説)	井ヶ田 良 治 ( 52 )
「図式政治学」への試み——政治学における図式—— (論説)	小 野 哲 ( 79 )
回復登記申請期間の徒過と所有権取得の対抗力 (判例研究)	金 山 正 信 ( 93 )
1793年の憲法 (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 103 )
<b>第 59 号 (12巻1号) (1960.4)</b>	
株式配当 (論説)	島 本 英 夫 ( 1 )
戦争と経済——ジルベルナーの一著述を中心として—— (論説)	今 井 仙 一 ( 21 )
違憲条約の効力——条約締結手続の法理から—— (論説)	杉 江 栄 一 ( 50 )
ジロンド憲法(1) (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 85 )
ベンサム『自然法批判』——とくにブラックストン に対する 批判を中心として—— (資料)	神 成 嘉 光 ( 101 )
高橋貞三編著「判例行政事件訴訟特例法」 (書評)	山 本 浩 三 ( 120 )
「学習憲法学」と「憲法基本問題の研究」 (書評)	田 畑 忍 ( 122 )
<b>第 60 号 (12巻2号) (1960.6)</b>	
実親子に関する戸籍訂正の法理 (1) (論説)	谷田貝 三 郎 ( 1 )
国際私法における外債発行——国債発行を中心として—— (論説)	岡 本 善 八 ( 25 )

永遠平和について——フリートリヒ・ゲンツを中心として—— (論説)	今井仙一	(46)
イギリス法における被害者の承諾の法理について (論説)	古賀哲夫	(74)
訳注 晋書刑法志(6) (未定稿) (資料)	内田智雄	(97)
ジロンド憲法(2) (訳) (資料)	山本浩三	(111)
「アメリカ法に於ける Mortgage の消滅について」 (資料)	竹ノ内治美	(118)
ハンス・ヘルフリッツ「一般国法学」(松原訳) (書評)	田畑忍	(130)

### 第 61 号 (12巻3号) (1960.8)

憲法と条約の関係について——日本国憲法第98条の解釈を 中心としての再論—— (論説)	田畑忍	(1)
いわゆる正戦について——グロチウスを中心として—— (論説)	今井仙一	(19)
実親子に関する戸籍訂正の法理(2) (論説)	谷田貝三郎	(49)
封建的村落共同体と村掟(2)——丹波国保津村五苗集團の村 落支配—— (論説)	井ヶ田良治	(80)
訳注 晋書刑法志(7) (未定稿) (資料)	内田智雄	(110)
東南アジアの企業形態概観 (資料)	岡本善八	(118)
陳勉昌著「マルクス主義国家論と二種類の矛盾の学説」 (訳) (資料)	大隅逸郎	(127)
ジロンド憲法(3・完) (訳) (資料)	山本浩三	(143)
佐々木哲蔵著「裁判官論」(書評)	田畑忍	(153)

### 第 62 号 (12巻4号) (1960.10)

再び魏律「序略」について——滋賀教授の私信に答えて—— (論説)	内田智雄	(1)
封建的村落共同体と村掟(3)——丹波国保津村五苗集團の 村落支配—— (論説)	井ヶ田良治	(26)
「判例人身保護法」(判例研究)	山本浩三	(57)
占有改定による占有の取得と民法第192条の適用の有無 (判例研究)	金山正信	(78)
不動産の遺贈とその対抗要件 (判例研究)	谷田貝三郎	(85)
訳注 晋書刑法志(8) (未定稿) (資料)	内田智雄	(98)
徐懋庸「内と外, 内因と外因について」(訳) (資料)	大隅逸郎	(104)

1831年2月7日のベルギー憲法 (訳) (資料)	山 本 浩 三 ( 113 )
パウル・ボッケルマンの共犯論に関する研究 (資料)	大 谷 實 ( 126 )
野村敬造著「憲法要説」(書評)	田 畑 忍 ( 137 )
鈴木安蔵著「国法学」(書評)	山 本 浩 三 ( 141 )
加藤正男教授「契約総論」(書評)	本 城 武 雄 ( 144 )
<b>第 63 号 (12巻5号) (1961.2) (今井仙一教授還暦記念論集)</b>	
佐々木惣一博士の憲法学 (論説)	田 畑 忍 ( 1 )
量刑における政治性と倫理性 (論説)	秋 山 哲 治 ( 19 )
選挙・政党・派閥 (論説)	樋 口 謹 一 ( 39 )
興中会から同盟会の成立に至る政治過程——辛亥革命への序曲—— (論説)	大 隅 逸 郎 ( 73 )
アメリカにおける民主的行政理論の展開 (論説)	君 村 昌 ( 101 )
勢力均衡政策の理論と実際 (論説)	杉 江 栄 一 ( 123 )
法実証主義弁護 (論説)	恒 藤 武 二 ( 155 )
イギリスにおける「法実証主義的思考にもとづく法哲学」の成立と発展 (論説)	八 木 鉄 男 ( 171 )
生の哲学と政治観——今井先生の思想と業績—— (論説)	片 山 寿 昭 ( 197 )
法と人間存在 (論説)	海 原 裕 昭 ( 217 )
哲学と教育学——リット教育学を中心として—— (論説)	梶 嘉一郎 ( 239 )
株式会社の繰延資産 (論説)	島 本 英 夫 ( 257 )
国際私法における外国為替管理法 (論説)	岡 本 善 八 ( 273 )
婚姻の成立・不成立および無効——民法の解釈と戸籍の訂正との関連において—— (論説)	谷田貝 三 郎 ( 295 )
耕作権序説 ——民法と農地法(1) —— (論説)	加 藤 正 男 ( 335 )
封建社会における村落共有山林と村落構造——役山・名主山・年寄山に関する一資料—— (論説)	井ヶ田 良 治 ( 353 )
差戻判決の拘束力に関する一覚書 (論説)	嶋 田 敬 介 ( 421 )
断片的自叙伝	今 井 仙 一 ( 443 )
今井仙一教授略歴および著作目録	( 1 )
<b>第 64 号 (12巻6号) (1961.3)</b>	
戦争の論理 (論説)	今 井 仙 一 ( 1 )
憲法改正論における佐々木説と美濃部説 (論説)	田 畑 忍 ( 27 )
訳注 晋書刑法志(9) (未定稿) (資料)	内 田 智 雄 ( 44 )

- 従物と附帯施設——統・民法と農地法(1)——(資料) 加藤正男(63)
- 1795年の憲法(1)(訳)(資料) 山本浩三(69)
- 鄧力群、吳江共著「弁証法は革命の代数学である」  
——「毛沢東選集」第4巻を読んで——(訳)(資料) 大隅逸郎(82)
- 戦後における天皇制の問題(資料) 太田雅夫(104)
- ボッケルマンの人格責任の理論(資料) 大谷實(120)
- 憲法調査会事務局刊行『フランス憲法のあゆみ』  
(野村敬造教授執筆)(書評) 田畑忍(132)
- 一円一億・黒田了一・田畑忍共編「討論日本国憲法」  
(書評) 西尾昭(135)

#### 第65号(13巻1号)(1961.4)

- 法の解釈に於ける主観主義と客観主義——憲法主義に於ける  
法解釈の一つの問題点に於て——(論説) 田畑忍(1)
- 封建的村落共同体と村掟(4)——丹波国保津村五苗集團の  
村落支配——(論説) 井ヶ田良治(23)
- 被害者が行使の意思を表明しなかった慰藉料請求権の  
相続性(判例研究) 谷田貝三郎(46)
- 宮井忠夫(46)
- 訳注 晋書刑法志(10)(未定稿)(資料) 内田智雄(62)
- 『憲法の変遷』にかんする清宮教授の見解について(資料) 田畑忍(84)
- 拙著・「契約総論」について——本城武雄氏に答える——  
(資料) 加藤正男(89)
- 聞師潤著「科学的論断と予見」——「毛沢東選集」第4巻の  
国際問題に関する論点の学習——(訳)(資料) 大隅逸郎(93)
- 田畑忍博士著「日本国憲法条義」(書評) 芳野勝(111)

#### 第66号(13巻2号)(1961.10)

- 日本の永世中立について——日本国憲法第9条の平和規定と  
永世中立主義の問題——(論説) 田畑忍(1)
- 「図式政治学」への試み(2)——政治学における図式——  
(論説) 小野哲(14)
- 離婚を余儀なくされた妻から夫および夫の両親に対する  
慰藉料請求(判例研究) 谷田貝三郎(35)
- 国府剛(35)
- 訳注 晋書刑法志(11・完)(未定稿)(資料) 内田智雄(49)

斯水 李伯鈿共著 中国における史的唯物論上の諸問題 に関する論争 (訳) (資料)	大 隅 逸 郎 ( 76 )
ドイツ法における離婚後の扶養と財産の清算 (資料)	宮 井 忠 夫 ( 96 )
「親族法の改正と婚姻の方式」——内縁関係を中心として—— (資料)	竹ノ内 治 美 (110)
「政暴法」について (書評)	田 畑 忍 (128)

**第 67 号 (13卷3号) (1961.11)**

登記請求権の観念 (論説)	金 山 正 信 ( 1 )
最近の中国における土台・上部構造論争(1)——スターリ ン「公式」の批判をめぐって—— (論説)	大 隅 逸 郎 ( 22 )
推定相続人の全員の死亡と代襲相続 (判例研究)	谷田貝 三 郎 ( 47 ) 宮 井 忠 夫
訳注 魏書刑罰志(1) (未定稿) (資料)	内 田 智 雄 ( 60 )
施向東「中国革命の二つの段階の区別と連繫」(訳) (資料)	大 隅 逸 郎 ( 72 )
首相国民投票制について (資料)	田 畑 忍 ( 90 )
予備と未遂の限界——特に実行の著手の意義について—— (資料)	大 谷 實 ( 96 )
「中立は実現できるか」(前芝・山手編) (書評)	田 畑 忍 (108)

**第 68 号 (13卷4号) (1961.12)**

スピノザの政治哲学 (上) (論説)	今 井 仙 一 ( 1 )
登記請求権の発生と行使 (論説)	金 山 正 信 ( 30 )
最近の中国における土台・上部構造論争(2・完) ——スタ ーリン「公式」の批判をめぐって—— (論説)	大 隅 逸 郎 ( 45 )
不公正な競争方法の判決 (判例研究)	高 橋 貞 三 ( 74 )
争のある共同相続人と遺産分割の申立 (判例研究)	谷田貝 三 郎 ( 88 ) 国 府 剛
川上太郎教授「国際私法の法典化に関する史的研究」 ——神戸大学経済経営研究所昭和36年9月10日発行—— (書評)	岡 本 善 八 ( 97 )

**第 69 号 (13卷5号) (1962.2)**

物権的請求権 (上) (論説)	金 山 正 信 ( 1 )
-----------------	---------------

スピノザの政治哲学(中)(論説)	今井仙一	(20)
地方公務員法第46条に基く措置要求の申立に対する人事 委員会の判定は行政処分にあたるか(判例批評)	高橋貞三	(50)
遺産の範囲に争いある場合と家庭裁判所の審判権 (判例批評)	谷田貝三郎 宮井忠夫	(62)
訳注 魏書刑罰志(2)(未定稿)(資料)	内田智雄	(73)
1795年の憲法(2)(訳)(資料)	山本浩三	(85)
ボルンハーク著 山本浩三訳「憲法の系譜」(書評)	高橋貞三	(96)
逐条資料「日本国憲法」(書評)	山本浩三	(100)

### 第70号(13巻6号)(1962.3)

フルスウェーイ教授の「訳注 漢書刑法志」 の書評に答えて(論説)	内田智雄	(1)
スピノザの政治哲学(下)(論説)	今井仙一	(14)
物権的請求権(下)(論説)	金山正信	(48)
封建的村落共同体と村掟(5)——丹波国保津村五苗集団の 村落支配——(論説)	井ヶ田良治	(66)
双方本人尋問と後に尋問すべき本人を退廷させることの 適否(判例研究)	嶋田敬介	(99)
共同相続財産に関する紛争と訴の性質等(判例研究)	谷田貝三郎 宮井忠夫	(105)
行政処分の不存在と認められない事例と行政処分の 瑕疵の治癒された事例(判例研究)	高橋貞三	(118)
訳注 魏書刑罰志(3)(未定稿)(資料)	内田智雄	(126)
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」 (1)(訳)(資料)	加藤正男 畑肇	(140)
1795年の憲法(3・完)(訳)(資料)	山本浩三	(155)
酒井吉栄著「近代憲法思想史研究」(書評)	山本浩三	(163)

### 第71号(14巻1号)(1962.5)

憲法学に於ける論理主義的法実証主義——小林教授の批判 に対する反論として——(論説)	田畑忍	(1)
合名会社清算持分の相続(論説)	岡本善八	(21)

未確定判決の財産分与請求権の保全(家族法判例研究7)  
(判例研究)

谷田貝 三 郎 (41)  
国 府 剛

訳注 魏書刑罰志(4)(未定稿)(資料)

内 田 智 雄 (54)

刑事確定判決と既判力(資料)

山 中 俊 夫 (67)

未必の故意について(資料)

大 谷 實 (85)

ミルキヌ・ゲツェヴィチ「国民公会の下における  
議院内閣制」(1)(訳)(資料)

山 本 浩 三 (96)

海波著「社会主義における権威の問題」——エンゲルスの  
「権威論」を読んで——(訳)(資料)

大 隅 逸 郎 (103)

カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
(2)(訳)(資料)

加 藤 正 男 (111)  
畑 肇

嬉野満洲雄『現代ヨーロッパ』(書評)

田 畑 忍 (129)

『思想の科学』天皇制特集号を読んで(書評)

太 田 雅 夫 (132)

## 第 72 号 (14卷2号) (1962.6)

京都学派の法思想について——その源流としての佐々木博士  
と恒藤博士——(論説)

田 畑 忍 (1)

天皇機関説確立過程における美濃部理論の特質——明治  
30年代における自由主義と社会主義の協力の問題を  
めぐって——(論説)

中 瀬 寿 一 (15)

迷信を動機とする通名への改名(家族法判例研究8)  
(判例研究)

谷田貝 三 郎 (56)  
太 田 光 子

商号変更に関する株主総会の決議前に新商号で振出さ  
れた約束手形と会社の責任(商事法判例研究1)  
(判例研究)

畑 肇 (70)

訳注 魏書刑罰志(5)(未定稿)(資料)

内 田 智 雄 (81)

人的会社に関する改正法文について(資料)

岡 本 善 八 (106)

レーヴェンシュタイン教授への書翰(資料)

田 畑 忍 (119)

呉江著 発展過程における部分的な質的变化について  
(訳)(資料)

大 隅 逸 郎 (123)

ミルキヌ・ゲツェヴィチ「国民公会の下における議院  
内閣制」(2)(訳)(資料)

山 本 浩 三 (138)

カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
(3) (訳) (資料)

加藤正男  
畑肇 (146)

八木鉄男著『分析法学の潮流』(書評)

海原裕昭 (162)

第73号 (14巻3号) (1962.7)

国際私法における持分相続および外国人的会社 (論説)  
人格責任論の準備的研究——Erik Wolfの見解を中心  
として—— (論説)

岡本善八 (1)

大谷實 (21)

調停調書の更正の申立を却下した決定に対して抗告する  
ことの適否 (判例研究)

嶋田敬介 (50)

被害者の認知前の父と民法第711条 (家族法判例研究9)  
(判例研究)

宮井忠夫 (60)

「法廷等の秩序維持に関する法律」違反事件について  
(刑事法判例研究1) (判例研究)

山中俊夫 (71)

訳注 魏書刑罰志(6) (未定稿) (資料)

内田智雄 (79)

国際私法上の能力についての一試見(1) (資料)

岡本善八 (92)

舒燁光「基本的な矛盾と矛盾の基本的な側面について」  
(1) (訳) (資料)

大隅逸郎 (103)

ミルキヌ・ゲツェヴィチ「国民公会の下における議院  
内閣制」(3・完) (訳) (資料)

山本浩三 (119)

カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
(4) (訳) (資料)

加藤正男  
畑肇 (126)

モーリス・デュベルジェ「第六共和政と大統領制」  
(書評)

山本浩三 (144)

第74号 (14巻4号) (1962.9)

フリードリヒ二世の『反マキャヴェリ』について (論説)  
小規模株式会社とclosed corporation序説——特に少数  
株主について—— (論説)

今井仙一 (1)

岡本善八 (31)

西ドイツにおける非嫡出子の法的地位(1)——ヒュブナー  
の見解を中心として—— (論説)

宮井忠夫 (51)

後見人の後見監督人に対する解任請求権  
(家族法判例研究10) (判例研究)

谷田具三郎  
国府剛 (79)



手形の呈示と時効の中断(商事法判例研究2)(判例研究)	畑	肇	( 85 )
言論の自由と名誉毀損罪(判例研究)	大谷	實	( 95 )
法規についての一試論——いわゆる訓示規定にかんする磯崎教授の見解について——(資料)	田畑	忍	( 104 )
国際私法上の能力についての一試論(2)(資料)	岡本	善八	( 108 )
「Double Jeopardy」とその諸問題(1)(資料)	山中	俊夫	( 121 )
カレ・ド・マルベール「議会制と人民投票の結合の問題にかんする理論的考察」(1)(訳)(資料)	山本	浩三	( 134 )
舒焯光「基本的な矛盾と矛盾の基本的な側面について」(2・完)(訳)(資料)	大隅	逸郎	( 141 )
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」(5)(訳)(資料)	加藤	正男	( 158 )
畑	肇		
Legal Aspects of Neutrality: Proceedings of the Third Commission. Publications of the International Association of Democratic Lawyers (234, rue du Trône, Brussels, 5-Elgium)(書評)	松下	泰雄	( 172 )

### 第 75 号 (14巻5号)(1962.11)

荻生徂徠の著述について(1)——「法律家」としての徂徠研究の序説——(論説)	内田	智雄	( 1 )
ヒュームにおける自愛の問題(論説)	今井	仙一	( 29 )
西ドイツにおける非嫡出子の法的地位(2・完)——ヒューブナーの見解を中心として——(論説)	宮井	忠夫	( 61 )
封建的村落共同体と村掟(6)——丹波国保津村五苗集團の村落支配——(論説)	井ヶ田	良治	( 87 )
親権者指定審判事件において監護者をも指定することの能否・ほか(家族法判例研究11)(判例研究)	宮井	忠夫	( 109 )
訳注 魏書刑罰志(7・完)(未定稿)(資料)	内田	智雄	( 120 )
ヨーロッパ統一株式会社法成立に関する所論(1)(資料)	岡本	善八	( 133 )
李光燦・郭雲鵬 共著「孫中山の哲学思想」(上)(訳)(資料)	大隅	逸郎	( 144 )
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」(6)(訳)(資料)	加藤	正男	( 165 )
畑	肇		

## 第76号 (14巻6号) (1963.1)

- 明治的裁判官の法思想——児島惟謙の場合—— (論説) 田 畑 忍 ( 1 )  
 荻生徂徠の著述について(2) ——「法律家」としての徂徠研究  
 の序説—— (論説) 内 田 智 雄 ( 18 )  
 家事審判規則第4条第1項但書の法意 (家族法判例研究12)  
 (判例研究) 嶋 田 敬 介 ( 46 )  
 保証のための戻裏書と償還請求 (商事法判例研究 3)  
 (判例研究) 畑 肇 ( 53 )  
 訳注 隋書刑法志(1) (未定稿) (資料) 内 田 智 雄 ( 60 )  
 ヨーロッパ統一株式会社法成立に関する所論(2) (資料) 岡 本 善 八 ( 72 )  
 西ドイツ親族法の改正 (上) (資料) 宮 井 忠 夫 ( 82 )  
 「Double Jeopardy」とその諸問題(2) (資料) 山 中 俊 夫 ( 99 )  
 カレ・ド・マルベール「議会制と人民投票の結合の問題  
 にかんする理論的考察」(2・完) (訳) (資料) 山 本 浩 三 ( 108 )  
 プロシア王国の憲法(1) (訳) (資料) 山 本 浩 三 ( 116 )  
 李光燦・郭雲鵬共著「孫中山の哲学思想」(下・完)  
 (訳) (資料) 大 隅 逸 郎 ( 127 )  
 カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
 (7) (訳) (資料) 加 藤 正 男 ( 143 )  
 畑 肇 ( 143 )  
 自由追求の憲法学——小林孝輔『日本の憲法政治』に  
 ついて—— (書評) 田 畑 忍 ( 157 )  
 田畑忍著「憲法重要問題の研究」——新刊紹介——  
 (書評) 西 尾 昭 ( 161 )  
 クーデンホーフ・カレルギー著 鹿島守之助訳  
 「パン・ヨーロッパ」 (鹿島研究所出版) (書評) 金 丸 輝 雄 ( 163 )

## 第77号 (14巻7号) (1963.2)

- 利己と利他との間 (論説) 今 井 仙 一 ( 1 )  
 憲法第19条の「良心」と第76条第3項の「良心」に  
 ついて (論説) 田 畑 忍 ( 27 )  
 人格責任論に関する二つの見解 (論説) 大 谷 實 ( 46 )  
 瑕疵ある代諾による養子縁組が追認されたものとして  
 尊属殺の成立する一事例 (家族法判例研究13)  
 (判例研究) 谷田貝 三 郎 ( 72 )  
 国 府 剛

西ドイツ親族法の改正(下)(資料)	宮井忠夫	(83)
聞師潤著「勢力を集中し、一つ一つ解決せよ」(訳) (資料)	大隅逸郎	(99)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (1)(訳)(資料)	八田良太郎 金丸輝雄	(116)
シャルル・セニョボス 権力の分立(1)(訳)(資料)	山本浩三	(129)
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」 (8)(訳)(資料)	加藤正男 畑肇	(137)
<b>第78号(14巻8号)(1963.3)(田畑忍教授還暦記念論集)</b>		
中間者としての人間について(論説)	今井仙一	(1)
社会主義的政治範疇としての「民主主義と自由」に ついて——中国社会主义政治の一考察——(論説)	大隅逸郎	(31)
天皇制意識の分析(論説)	太田雅夫	(65)
天皇観念の変遷(論説)	高橋信司	(85)
右翼社会民主主義とラスキの思想的変遷の問題(論説)	岡田良夫	(129)
“明治デモクラシー”のナショナリズムへの転換 ——「天皇機関説」論者上杉慎吉・北一輝の“転向” 思想——(論説)	中瀬寿一	(177)
刑法解釈における相当性の概念(論説)	秋山哲治	(217)
公の営造物と賠償責任(論説)	西尾昭	(241)
単純な届出制について(論説)	芳野勝	(261)
フランス58年憲法における条約法形成手続(論説)	杉江栄一	(283)
田畑憲法学の特質(論説)	上田勝美	(311)
ノースカロライナの議決権信託制度(論説)	島本英夫	(341)
商号複数原則について(論説)	岡本善八	(363)
「法命令説」における主権者の問題(論説)	八木鉄男	(391)
徴兵令における「家」と国家(論説)	熊谷開作	(421)
社会学的法学の思想性(論説)	海原裕昭	(445)
田畑忍教授略歴および著作目録		(1)
<b>第79号(14巻9号)(1963.3)</b>		
小規模株式会社設立に関する一考察(論説)	岡本善八	(1)

荻生徂徠の著述について(3)——法律家としての徂徠研究 の序説——(論説)	内 田 智 雄 ( 26 )
未成年の子に対する扶養料の支払いを命ずる審判とその 期間の明示(家族法判例研究14)(判例研究)	宮 井 忠 夫 ( 61 )
ヨーロッパ型株式会社法に関する所論(3・完)(資料)	岡 本 善 八 ( 72 )
アメリカ公務員制度の課題(資料)	君 村 昌 ( 86 )
各国養子法の改正(資料)	国 府 剛 ( 95 )
シャルル・セニョボス「権力の分立」(2・完)(訳) (資料)	山 本 浩 三 (129)
呉伝啓著「政治と経済の弁証法」(上)——「資本論」に おける弁証法の問題に関する学習ノート——(訳)(資料)	大 隅 逸 郎 (140)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (2)(訳)(資料)	八 田 良太郎 (160) 金 丸 輝 雄
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」 (9)(訳)(資料)	加 藤 正 男 (173) 畑 肇

### 第 80 号 (15巻1号) (1963.6)

荻生徂徠の著述について(4)——法律家としての徂徠研究 序説——(論説)	内 田 智 雄 ( 1 )
アメリカ法における使用者責任の動向(上)——労働災害 をめぐって——(論説)	古 賀 哲 夫 ( 29 )
わが国における人格責任論の潮流(論説)	大 谷 實 ( 63 )
伐木所有権を対抗できない事例(判例研究)	金 山 正 信 ( 92 )
新民法附則第25条第2項による相続人が応急措置法施行 前に死亡した場合におけるその相続の準拠法 (家族法判例研究15)(判例研究)	宮 井 忠 夫 (103)
プロシヤ王国の憲法(2・完)(訳)(資料)	山 本 浩 三 (113)
呉伝啓著「政治と経済の弁証法」(下)——「資本論」に おける弁証法の問題に関する学習ノート——(訳)(資料)	大 隅 逸 郎 (129)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (3)(訳)(資料)	八 田 良 太 郎 (145) 金 丸 輝 雄

カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
(10) (訳) (資料)

加藤 正 男 (158)  
畑 肇

田畑忍編「憲法判例総合研究」(書評)

上田 勝 美 (168)

**第 81 号 (15卷2号) (1963.9)**

佐々木惣一博士の帝国憲法改正案について (論説)

田 畑 忍 ( 1 )

民法上の組合の訴訟当事者能力 (論説)

宮 井 忠 夫 ( 34 )

刑事司法における法治原理(1)——E・シュミットを中心  
として—— (論説)

山 中 俊 夫 ( 65 )

「営業譲渡と労働関係の移転」(判例研究)

岡 本 善 八 ( 91 )

検察官を相手方とした認知訴訟における民訴第64条の  
訴訟の結果につき利害関係を有する第三者  
(家族法判例研究16) (判例研究)

宮 井 忠 夫 (105)

明治社会主義運動に関する一考察——直接行動論の台頭を  
中心にして—— (資料)

辻 野 功 (115)

張友漁著「ブルジョワ議会制民主主義の偽瞞性」(訳)  
(資料)

大 隅 逸 郎 (131)

ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』  
(4) (訳) (資料)

八 田 良太郎 (144)  
金 丸 輝 雄

カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」  
(11) (訳) (資料)

加藤 正 男 (156)  
畑 肇

Legal Problems Arising From The Development  
And Utilisation of Atomic Energy: Procee-  
dings of the Second Commission. VIIth  
Congress of the International Association of  
Democratic Lawyers. (Sofia 10th-14th October  
1960) (書評)

松 下 泰 雄 (167)

**第 82 号 (15卷3号) (1963.10)**

「高柳意見」の保守性 (論説)

田 畑 忍 ( 1 )

刑事司法における法治原理(2・完)——E・シュミットを  
中心として—— (論説)

山 中 俊 夫 ( 23 )

請求の予備的併合において主たる請求を排斥する  
一部判決が許されないとされた事例 (判例研究)

嶋 田 敬 介 ( 43 )

労働者災害補償保険法による災害補償と民法上の損害 賠償並びに慰謝料との関係 (判例研究)	古賀哲夫 (55)
民法第761条と表見代理 (家族法判例研究17) (判例研究)	国府剛 (65)
肖前著「条件を論ず」(上) (訳) (資料)	大隅逸郎 (76)
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」 (12) (訳) (資料)	加藤正男 畑肇 (88)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (5) (訳) (資料)	八田良太郎 金丸輝雄 (96)
田畑忍教授著『児島惟謙』(紹介)	西田毅 (107)

### 第83号 (15巻4号) (1964.1)

株式買取請求権について (論説)	島本英夫 (1)
「法支配の原理」と「議院内閣制」——続・『「高柳意見 書」の保守性』——(論説)	田畑忍 (19)
近代国際社会形成期における勢力均衡論 (論説)	杉江栄一 (46)
民法第94条第2項の類推適用を認めた一事例 (判例研究)	金山正信 (80)
離婚請求および財産分与請求認容の判決に対し財産分与 のみを不服とする控訴を提起することの適否 (家族法 判例研究18) (判例研究)	宮井忠夫 (90)
家事審判事件における鑑定人に対する忌避申立却下の 審判に対する不服申立期間 (家族法判例研究19) (判例研究)	嶋田敬介 (99)
概観ルクセンブルグ国際私法——Dietrich Bernecker の所論のうち特に財産法に関する紹介—— (資料)	岡本善八 (108)
ミルキヌ・ゲツェヴィチ「比較憲法学の研究方法に ついて」(訳) (資料)	山本浩三 (120)
肖前著「条件を論ず」(下) (訳) (資料)	大隅逸郎 (130)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (6) (訳) (資料)	八田良太郎 金丸輝雄 (147)
カール・レンナー著「私法の諸制度とその社会的機能」 (13・完) (訳) (資料)	加藤正男 畑肇 (157)

憲法研究所編「最高裁判所にかんする研究」(書評)	佐々木 哲 蔵 (165)
<b>第 84 号 (15卷5号) (1964.2)</b>	
手形関係と民法(論説)	小 橋 一 郎 ( 1 )
いわゆる「三つの意味の憲法」の問題点——渡辺教授の 憲法論の或る側面に対する批判として——(論説)	田 畑 忍 ( 20 )
刑罰量定基準と人格責任論(論説)	大 谷 實 ( 33 )
数次の相続開始があった場合における民法884条の20年 の起算点(家族法判例研究20)(判例研究)	谷田貝 三 郎 ( 57 ) 前 田 正 昭
婚姻予約の破綻と共同不法行為(家族法判例研究21) (判例研究)	国 府 剛 ( 66 )
微小国家の憲法の一例——「リヒテンシュタインの憲法」 (新田隆信著)に思う——(資料)	田 畑 忍 ( 78 )
認知請求権の放棄について(資料)	前 田 正 昭 ( 83 )
呂振羽著「歴史科学と毛沢東思想」(上)(訳)(資料)	大 隅 逸 郎 ( 96 )
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (7)(訳)(資料)	八 田 良太郎 (117) 金 丸 輝 雄
一円一億・黒田了一編「憲法問題入門」(書評)	上 田 勝 美 (127)
<b>第 85 号 (15卷6号) (1964.3)</b>	
清朝の「預備立憲」と「欽定憲法」——辛亥革命前夜に おける「君主立憲」と「民主運動」(上)——(論説)	大 隅 逸 郎 ( 1 )
英米刑法における精神障害と責任能力の問題(論説)	大 谷 實 ( 18 )
「先決問題の拘束性」に関する一考察(1)——刑事訴訟を 中心として——(論説)	山 中 俊 夫 ( 41 )
家屋所有権濫用の事例(家族法判例研究22)(判例研究)	宮 井 忠 夫 ( 60 )
地方裁判所に提起された準禁治産宣告取消訴訟と管轄 家庭裁判所に対する移送の適否(判例研究)	宮 井 忠 夫 ( 71 )
フランス法における外国会社(資料)	岡 本 善 八 ( 80 )
呂振羽著「歴史科学と毛沢東思想」(中)(訳)(資料)	大 隅 逸 郎 ( 96 )
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (8)(訳)(資料)	八 田 良太郎 (111) 金 丸 輝 雄

中瀬寿一著「近代における天皇観」(書評) 太田雅夫 (122)

第86号(16巻1号)(1964.4)

「欽定憲法大綱」の破産と「十九信条」の頒布——辛亥  
革命前夜における「君主立憲」と「民主運動」(中)——(論説) 大隅逸郎 (1)

「先決問題の拘束性」に関する一考察(2)——刑事訴訟を中  
心として——(論説) 山中俊夫 (18)

嫡出兄弟姉妹関係の不存在確認請求と確認の利益  
(家族法判例研究23)(判例研究) 国府剛 (34)

訳注 隋書刑法志(2)(未定稿)(資料) 内田智雄 (46)

呂振羽著「歴史科学と毛沢東思想」(下)(訳)(資料) 大隅逸郎 (72)

ヘンリー・I・メイスン著『トインビーの世界政治観』  
(9)(訳)(資料) 八田良太郎  
金丸輝雄 (90)

第87号(16巻2号)(1964.5)

いわゆる意志の自由について——スピノザ研究(1)——  
(論説) 今井仙一 (1)

株式譲渡制限について(1)——特に閉鎖会社との関連に  
おいて——(論説) 岡本善八 (30)

「先決問題の拘束性」に関する一考察(3・完)——刑事訴訟  
を中心として——(論説) 山中俊夫 (50)

黎明期労働組合運動におけるナショナルな契機(論説) 辻野功 (64)

内縁の解消と財産分与(家族法判例研究24)(判例研究) 前田正昭 (78)

学談「護憲・改憲の諸問題」——憲法調査会批判を一時点と  
して——(編)(資料) 田畑忍 (88)

訳注 隋書刑法志(3)(未定稿)(資料) 内田智雄 (117)

丁守和著「レーニンと民族解放運動」(上)(訳)  
(資料) 大隅逸郎 (139)

ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』  
(10)(訳)(資料) 八田良太郎  
金丸輝雄 (152)

第88号(16巻3号)(1964.7)

改憲と護憲の谷間——首相公選論に関する政治意識調査によ  
せて——(論説) 小野哲 (1)



いわゆる「十七人意見書」について——『憲法改正の方向』 に対する全面的な批判として——（論説）	田 畑 忍	( 31 )
清末における婦人解放運動と女俠秋瑾——辛亥革命前夜に おける「君主立憲」と「民主運動」(下)——（論説）	大 隅 逸 郎	( 58 )
悪について——スピノザ研究(2)——（論説）	今 井 仙 一	( 78 )
離婚原因に関する当事者の主張の解釈(家族法判例研究25) (判例研究)	国 府 剛	( 105 )
主婦の共同耕作による水稲省力栽培——あしの芽会の 「不耕式」実験田の見聞——（資料）	小 野 哲	( 117 )
学談「護憲・改憲の諸問題」——憲法調査会批判を一時点 として——(編)(資料)	田 畑 忍	( 127 )
訳注 隋書刑法志(4)(未定稿)(資料)	内 田 智 雄	( 155 )
丁守和著「レーニンと民族解放運動」(中)(訳) (資料)	大 隅 逸 郎	( 178 )
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (11)(訳)(資料)	八 田 良太郎 金 丸 輝 雄	( 194 )

### 第 89 号 (16巻4号) (1964.9)

大学自治主義と大学管理主義——中央教育審議会の大学 教育についての政策と思想の検討——（論説）	田 畑 忍	( 1 )
善について——スピノザ研究(3)——（論説）	今 井 仙 一	( 32 )
婚姻無効の訴に併合された損害賠償請求の予備的反訴の 適否(判例研究)	嶋 田 敬 介	( 59 )
自分の妻の名にふりがなをつけた字を子の名とする 出生届の適否(家族法判例研究26)(判例研究)	宮 井 忠 夫	( 68 )
M・ウェバーの焦り——M・ウェバーの政治感覚に関する —考察——（資料）	吉 田 宜 路	( 77 )
学談「護憲・改憲の諸問題」——憲法調査会批判を一時点 として——(編)(資料)	田 畑 忍	( 85 )
訳注 隋書刑法志(5)(未定稿)(資料)	内 田 智 雄	( 106 )
丁守和・「レーニンと民族解放運動」(下)(訳)(資料)	大 隅 逸 郎	( 133 )
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (12)(訳)(資料)	八 田 良太郎 金 丸 輝 雄	( 154 )

## 第90号 (16巻5号) (1964.11)

バートランド・ラッセルにおける抵抗の思想と行動 (論説)	小野修 (1)
株式譲渡制限について(2)——特に閉鎖会社との関連に おいて—— (論説)	岡本善八 (36)
有責当事者の離縁請求(家族法判例研究27) (判例研究)	国府剛 (55)
憲法第9条の新しい解釈——磯崎教授の『憲法第9条の解釈』 について—— (資料)	田畑忍 (67)
西ドイツにおける破綻主義——西ドイツ婚姻法48条について —— (資料)	宮井忠夫 (74)
認知の取消について (資料)	前田正昭 (98)
訳注 隋書刑法志(6) (未定稿) (資料)	内田智雄 (110)
ユージン・V・ロストウ「日系アメリカ人事件」 (上) (訳) (資料)	藤倉皓一郎 (133)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (13) (訳) (資料)	八田良太郎 金丸輝雄 (159)

## 第91号 (16巻6号) (1965.3) (大隅逸郎教授追悼号)

大隅教授における「理論と実践」の問題——その思考方法 との関連において——	西田毅 (1)
スピノザの神について (上) ——スピノザ研究(4) —— (論説)	今井仙一 (19)
株式譲渡制限について(3・完)——特に閉鎖会社との関連に おいて—— (論説)	岡本善八 (45)
イギリスにおける社会主義革命への途——ジョン・ゴラン 「われわれはどの途を選ぶのか」をめぐって—— (論説)	岡田良夫 (69)
高野房太郎の思想と生涯 (論説)	辻野功 (100)
「中江丑吉書簡集」の出版に寄せて——「中江文庫」搬入 のことども—— (論説)	内田智雄 (138)
遺言執行者選任の審判及び同審判取消の審判に対する不服 申立方法(家族法判例研究28) (判例研究)	谷田貝三郎 (162)
施設収容児童の親族関係——京都市における実態調査—— (資料)	谷田貝三郎 宮井忠夫 (171)
	国府剛

訳注 隋書刑法志(7) (未定稿) (資料)	内 田 智 雄 (186)
ユージン・V・ロストウ著「日系アメリカ人事件」(下) (訳) (資料)	藤 倉 皓一郎 (199)
ヘンリー・L・メイスン著『トインビーの世界政治観』 (14・完) (訳) (資料)	八 田 良太郎 (222)
真野毅編『裁判と現代』(書評)	金 丸 輝 雄 (243)
故大隅逸郎教授略歴および著作目録	田 畑 忍 (248)

### 第 92 号 (17卷1号) (1965.6)

「未必の故意」再論 (論説)	大 谷 實 (1)
スピノザの神について (中) ——スピノザ研究(5)—— (論説)	今 井 仙 一 (26)
政治にかんする科学と哲学(1)——認識と意志の問題—— (論説)	小 野 修 (54)
傷害致死の原因たる暴行にあたとされた事例 (判例研究)	秋 山 哲 治 (79)
単なる便法としてなされた縁組届出の効力 (家族法判例研究29) (判例研究)	前 田 正 昭 (85)
訳注 隋書刑法志(8・完) (未定稿) (資料)	内 田 智 雄 (93)
アメリカの自動車損害賠償制度と過失責任の原則 (資料)	藤 倉 皓一郎 (104)
小林孝輔『憲法学要論』など (書評)	田 畑 忍 (129)

### 第 93 号 (17卷2号) (1965.8)

現代イギリス法理学の実証的・経験的傾向について(1) (論説)	恒 藤 武 二 (1)
戦争と政治についての或る権力主義思想——それに対する 一つの批判として—— (論説)	田 畑 忍 (33)
スピノザの神について (下) ——スピノザ研究 (6) —— (論説)	今 井 仙 一 (53)
政治にかんする科学と哲学(2)——認識と意志の問題—— (論説)	小 野 修 (80)
労働争議における闘争手段としてのビラ貼り行為と 建造物損壊罪 (判例研究)	大 谷 實 (104)
子の氏の変更を親の家族の幸福が損われるとして許さ なかった事例 (家族法判例研究30) (判例研究)	宮 井 忠 夫 (116)

- 「ポールズグラフ対ロングアイランド鉄道会社」事件  
 (アメリカ不法行為法判例訳選1)(訳)(資料) 藤倉 皓一郎 (125)
- 権力試論(1)——カール・レーヴェンシュタイン教授の権力論を  
 中心として——(資料) 松下 泰雄 (137)

#### 第94号(17巻3号)(1965.10)

- 人身傷害と近親の慰籍料——アメリカ判例法の発展——  
 (論説) 藤倉 皓一郎 (1)
- スピノザにおける個物の意味(上)——スピノザ研究  
 (7)——(論説) 今井 仙一 (37)
- 現代イギリス法理学の実証的・経験的傾向について  
 (2・完)(論説) 恒藤 武二 (65)
- 政治にかんする科学と哲学(3)——認識と意志の問題——  
 (論説) 小野 修 (95)
- 事実に反する認知について認知者自身の無効主張を  
 認めた事例(家族法判例研究31)(判例研究) 前田 正昭 (125)
- 憲法第9条について——横川教授の批判に答える——(資料) 田畑 忍 (132)
- 「オルムステッド対合衆国」事件  
 (アメリカ刑事法判例訳選1)(資料) 山中 俊夫 (139)

#### 第95号(17巻4号)(1965.12)

- フランス法における手形関係と原因関係の一考察(1)  
 (論説) 畑 肇 (1)
- 賃借小作における「信義」違反と解約(論説) 加藤 正男 (20)
- 意思自由の問題は刑法学上必要か(1)——最近の動向に  
 関連して——(論説) 大谷 實 (37)
- スピノザにおける個物の意味(中)——スピノザ研究  
 (8)——(論説) 今井 仙一 (63)
- 遺産分割前に処分された相続財産の分割  
 (家族法判例研究32)(判例研究) 谷田貝 三郎 (91)
- 「ユナイテッド亜鉛化学会社対ブリット」事件——  
 アトラクティブ・ニューサンスの法理——  
 (アメリカ不法行為法判例訳選2)(資料) 藤倉 皓一郎 (103)
- ゴウルド対合衆国事件(アメリカ刑事法判例訳選2)(資料) 山中 俊夫 (113)

## 第 96 号 (17卷5号) (1966.2)

- スピノザにおける個物の意味 (下) ——スピノザ研究  
(9) —— (論説) 今井 仙一 (1)
- 意思自由の問題は刑法学上必要か(2・完)——最近の動向に  
関連して—— (論説) 大谷 實 (27)
- フランス法における手形関係と原因関係の一考察(2・完)  
(論説) 畑 肇 (48)
- 「縁組を継続し難い重大な事由」の解釈(家族法判例研究33)  
(判例研究) 国府 剛 (84)
- 訳注 旧唐書刑法志(1)(未定稿)(資料) 内田 智雄 (94)
- 「ボンプレスト対コッツ」事件——胎児の損害賠償請求権——  
(アメリカ不法行為法判例訳選3)(資料) 藤倉 皓一郎 (107)
- 「マロリー対合衆国」事件(アメリカ刑事法判例訳選3)  
(資料) 山中 俊夫 (117)
- HERBERT GOTTSCHALK, Bertrand Russell: a life  
(書評) 小野 修 (129)

## 第 97 号 (17卷6号) (1966.3)

- 明治20年代の平和思想——北村透谷と内村鑑三の場合——  
(論説) 田畑 忍 (1)
- 政治理論の哲学的連関にかんする一考察(1)——パート  
ランド・ラッセルを中心として—— (論説) 小野 修 (23)
- 一 行政事件訴訟法附則第3条にいう「旧法によって生  
じた効力」の意義
- 二 免職された公務員が免職処分取消訴訟係属中に公職  
の候補者として届出をしたため、法律上その職  
を辞したものとみなされるにいたった場合における  
行政事件訴訟法第9条(原告適格)にいう訴の利益  
の有無(判例批評) 高橋 貞三 (41)
- 家庭裁判所が自庁処理をせずに移送の審判をした場合に  
おける即時抗告申立の当否(家族法判例研究34)  
(判例研究) 嶋田 敬介 (53)
- 和教組専従事件最高裁判決をめぐって(判例研究) 上田 勝美 (62)
- ミルキヌ・ゲツェヴィチ 両大戦間のヨーロッパの議院  
内閣制(1)(訳)(資料) 山本 浩三 (76)

- 東ドイツ家族法草案について(1) (資料) 宮井忠夫 (87)
- 「自動車運転者の同乗者に対する責任」 (アメリカ不法行為  
法判例訳選4) (資料) 藤倉皓一郎 (112)

### 第98号 (18巻1号) (1966.9)

- 悪法論と法実証主義 (論説) 八木鉄男 (1)
- 政治思想の理論的基礎(2)——ラッセルにおける倫理的認識  
の変遷—— (論説) 小野修 (26)
- 遺留分回復の訴の訴訟物・ほか (家族法判例研究35)  
(判例研究) 宮井忠夫 (53)
- 社会史観ノート——政治学原論資料—— (資料) 小野哲 (63)
- エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(1) (訳) (資料) 君村昌 (76)  
中村陽一 (93)
- 東ドイツ家族法草案について(2) (資料) 宮井忠夫 (93)
- 岡本清一著「ナショナリズムの論理」 (書評) 金丸輝雄 (124)

### 第99号 (18巻2号) (1966.11)

- 福沢における「抵抗」の論理の展開(1)——近代日本の  
政治倫理—— (論説) 西田毅 (1)
- 裁判に対する政府の干渉と大審院長による干渉排除の  
峻別——家永三郎教授の『児島惟謙と大津事件』に対  
する一つの反論として—— (論説) 田畑忍 (28)
- 責任能力と意思の自由(1) (論説) 大谷實 (42)
- 自動車等運転免許証の有効期間の経過と右運転免許  
取消処分取消訴訟における訴の利益(判例研究) 高橋貞三 (62)
- 一方当事者による婚姻届出が他方当事者により追認  
されたものと認められた事例 (家族法判例研究36)  
(判例研究) 国府剛 (71)
- 訳注 旧唐書刑法志(2) (未定稿) (資料) 内田智雄 (82)
- エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(2) (訳) (資料) 君村昌 (104)  
中村陽一

### 第100号 (18巻3号) (1967.1)

- 毛沢東の革命的戦争論 (論説) 田畑忍 (1)
- 大山郁夫の民本主義論 (論説) 太田雅夫 (27)

責任能力と意思の自由(2) (論説)	大谷 實 (75)
重婚的内縁の解消と財産分与請求 (家族法判例研究37) (判例研究)	宮井 忠夫 (98)
全通中央郵便局事件最高裁判決について——郵便法違反 教唆被告事件, 大法廷判 昭和41・10・26—— (判例研究)	上田 勝美 (110)
訳注 旧唐書刑法志(3) (未定稿) (資料)	内田 智雄 (134)
ハート・「責任概念の変更」について (資料)	大谷 實 (154)

### 第101号 (18巻4号) (1967.3)

アメリカにおける高級公務員制度の問題点(1)——第二次 フーバー委員会の「上級公務員制度」(Senior Civil Service)の提案をめぐる—— (論説)	君村 昌 (1)
責任能力と意志の自由(3) (論説)	大谷 實 (27)
遺言と抵触する生前の財団法人設立行為の効力 (家族法判例研究38) (判例研究)	谷田 具三郎 (48)
訳注 旧唐書刑法志(4) (未定稿) (資料)	内田 智雄 (60)
イギリス法における「Personalty Settlement」に ついて (資料)	金原 光蔵 (86) 吉田 みのり
「事物の本性」にかんする一考察 (資料)	上田 健二 (99)
国連事務局職員の地理的配分とその観念 (資料)	谷本 治三郎 (117)

### 第102号 (19巻1号) (1967.8)

手形債権の不可分性 (論説)	手塚 尚男 (1)
大正デモクラシー運動と大学評論社グループ (論説)	太田 雅夫 (21)
家督相続の無効確認ならびに指定家督相続人たる地位の 存否の確認を求める訴の適否, 等 (家族法判例研究39) (判例研究)	前田 正昭 (52)
わが国における太平洋戦争原因論——その動向の紹介—— (資料)	金丸 輝雄 (61)
西ドイツ非嫡出子法報告者草案について (資料)	佐藤 義彦 (73)
アルトゥール・カウフマン『行為の存在論的構造 ——人格的行為論序説』について Arthur Kaufmann: Die ontologische Struktur der Handlung. —Skizze einer personalen Handlungslehre ——(1966) (資料)	上田 健二 (105)

国際連合事務局の活動および組織再検討専門家委員会の  
報告の紹介(1) (資料)

谷 本 治三郎 (120)

**第103号 (19巻2号) (1967.10)**

農地買収取消と取得時効(1)——大阪府のケースに対する  
鑑定報告を機縁として—— (論説)

加 藤 正 男 ( 1 )

フランス国際私法の前駆的過程(1)——Delaume氏の所説  
を手懸りとして—— (論説)

岡 本 善 八 ( 17 )

裁判所の執行停止の決定と内閣総理大臣の異議 (論説)

上 田 勝 美 ( 48 )

責任能力と意思の自由(4・完) (論説)

大 谷 實 ( 68 )

禁治産宣告の審判に対する即時抗告と右審判と同時に  
なされた後見人選任の審判に対する不服申立  
(家族法判例研究40) (判例研究)

嶋 田 敬 介 ( 97 )

**第104号 (19巻3号) (1967.12)**

明治初期刑事法思想の研究——ボアソナードの思想を中心  
として—— (論説)

山 中 俊 夫 ( 1 )

東ドイツにおける離婚給付制度について ——制度の法的  
根拠および離婚給付請求権の性質に関する判例・学説を  
中心として—— (論説)

佐 藤 義 彦 ( 43 )

農地買収取消と取得時効(2・完) ——大阪府のケースに  
対する鑑定報告を機縁として—— (論説)

加 藤 正 男 ( 71 )

破産者は株式会社の取締役となることができるか  
(判例研究)

上 北 武 男 ( 90 )

民法第754条にいう「婚姻中」の意義 (家族法判例研究41)  
(判例研究)

国 府 剛 (102)

訳注 旧唐書刑法志(5) (未定稿) (資料)

内 田 智 雄 (113)

《経歴詐称と懲戒処分》 (資料)

佐々木 允 臣 (130)

伊谷隆一著『非戦の思想』を読む (書評)

田 畑 忍 (143)

**第105号 (19巻4号) (1968.2)**

権力の視点にもとづく社会分析 (上) ——バートランド・  
ラッセルの権力論を中心として—— (論説)

小 野 修 ( 1 )

法の解釈と法の適用——いわゆる「わく」について—— (論説)

吉 田 宜 路 ( 27 )

過去の扶養料の求償と民法第878条および第879条  
(家族法判例研究42) (判例研究)

佐 藤 義 彦 ( 56 )



- 明治初期拷問制度とボアソナード (資料) 山中俊夫 (67)
- 中山研一著「因果関係」——社会主義刑法を中心として——  
(書評) 大谷 實 (80)

**第 106 号 (19 卷 5 号) (1968.3)**

- 権力の視点にもとづく社会分析 (下) ——バートランド・  
ラッセルの権力論を中心に——(論説) 小野 修 (1)
- 男性に妻のあることを知って情交関係を結んだ女性に  
慰謝料請求を認容した事例 (家族法判例研究43)  
(判例研究) 宮井忠夫 (21)
- 西ドイツ非嫡出子法政府草案——1967年9月発表——  
(仮訳) (資料) 佐藤義彦 (31)
- イギリス法における Strict Settlement と Trust for  
Sale について (資料) 金原光蔵 (61)  
吉田みのり
- フランスにおける工場占拠の法理 (資料) 佐々木 允 臣 (72)
- 国連軍の機能——スエズとコンゴ両国連軍をケース・スタディ  
として—— (資料) 荒岡 興太郎 (84)
- エドマンド・バークとフランス革命——保守主義者の  
ナショナリズム思想—— (資料) 梅津 実 (94)

**第 107 号 (20 卷 1 号) (1968.5)**

- 不法行為責任の展開——「損害負担」理論にかんする  
一考察—— (論説) 藤倉 皓一郎 (1)
- 信仰の相違と婚約の破棄 (家族法判例研究43) (判例研究) 谷田貝 三 郎 (41)
- 西ドイツ非嫡出子法の改正について(1)——政府草案の  
発表を機縁として—— (資料) 佐藤 義彦 (50)
- イギリス法における Realty Settlement について(1)  
——1925年以後—— (資料) 金原光蔵 (60)  
吉田みのり
- 訳注 旧唐書刑法志(6) (未定稿) (資料) 内田 智雄 (70)
- エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(3) (訳) (資料) 君村 昌 (95)  
中村 陽 一
- わが国の政党政治形成期に関する一考察——政党と軍部の  
関係を中心として—— (資料) 天野 真 宏 (112)

**第108号 (20巻2号) (1968.12)**

- J・ベンサムとイギリス法理学の誕生 (論説) 深 田 三 徳 ( 1 )
- 虚偽の嫡出子出生届に養子縁組の効力を認めた事例  
(家族法判例研究45) (判例研究) 前 田 正 昭 ( 37 )
- マルクス・キケロー「国家について」(1) (訳注)  
(資料) 岡 道 男 ( 42 )
- 訳注 旧唐書刑法志(7) (未定稿) (資料) 内 田 智 雄 ( 89 )
- イギリス法における Realty Settlementについて(2)  
——1925年以後—— (資料) 金 原 光 蔵 (106)  
吉 田 みのり
- トインビーの文明論構想について (資料) 門 間 都 喜 郎 (117)

**第109号 (20巻3号) (1969.1)**

- 福沢における「抵抗」の論理の展開(2)——近代日本の政治  
倫理—— (論説) 西 田 毅 ( 1 )
- 相続放棄取消の申述受理後当該相続放棄の有効を別訴  
で主張することの可否 (家族法判例研究46)  
(判例研究) 国 府 剛 ( 17 )
- マルクス・キケロー「国家について」(2) (訳注)  
(資料) 岡 道 男 ( 27 )
- 西ドイツ非嫡出子法の改正について(2)——政府草案の  
発表を機縁として—— (資料) 佐 藤 義 彦 ( 69 )

**第110号 (20巻4号) (1969.1)**

- 政治哲学序説(1) (論説) 今 井 仙 一 ( 1 )
- 近世後期の部落差別政策 (上) (論説) 井ヶ田 良 治 ( 28 )
- 離婚後親権を行なわない親の面接交渉権  
(家族法判例研究47) (判例研究) 佐 藤 義 彦 ( 50 )
- 現在の法律関係に関する訴えによって課税処分が無効  
を争った事例 (判例研究) 上 北 武 男 ( 57 )
- イギリス法における Realty Settlement について (3)  
——1925年以後—— (資料) 金 原 光 蔵 ( 66 )  
吉 田 みのり
- レオン・デュギーにおける法の概念と社会法(1) (資料) 佐々木 允 臣 ( 75 )

**第 111 号 (20卷5号) (1969.3)**

- 代表政と直接政との関係(1)——ミルキヌ・ゲツェヴィチの  
憲法思想の研究(その1)——(論説) 山本浩三(1)
- 政治哲学序説(2)(論説) 今井仙一(28)
- 近世後期の部落差別政策(下)(論説) 井ヶ田良治(53)
- 民法第826条の利益相反行為にあたりとされた事例  
(家族法判例研究48)(判例研究) 宮井忠夫(85)
- エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(4)(訳)(資料) 君村昌(94)  
中村陽一
- 「自動車運転者の同乗者に対する責任——過失の程度——」  
(アメリカ不法行為法判例訳選5)(資料) 藤倉皓一郎(112)
- 大谷實著「刑事責任の基礎」(昭和43・成分堂)(書評) 中山研一(123)

**第 112 号 (20卷6号) (1969.3)**

- 商法学方法論に関する一つの反省——商法解釈方法を中心  
として——(論説) 手塚尚男(1)
- 政治の墮落過程とプロパガンダ——政治哲学序説(3)——  
(論説) 今井仙一(21)
- 明治期の安部磯雄(論説) 辻野功(45)
- 意思能力のある子の法定代理人による認知の訴  
(家族法判例研究49)(判例研究) 前田正昭(73)
- 訳注 旧唐書刑法志(8・完)(未定稿)(資料) 内田智雄(79)
- エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(5)(訳)(資料) 君村昌(99)  
中村陽一
- 国家の発展段階の区分について——ソビエト国家の場合——  
(資料) 金子道雄(117)

**第 113 号 (21卷1号) (1969.6)**

- 米国判例における租税回避(1)(論説) 浅沼潤三郎(1)
- 権力の二元性——政治哲学序説(4)——(論説) 今井仙一(25)
- フランス国際私法の前駆的過程(2・完)(論説) 岡本善八(53)
- 無能力者であることを黙秘することと民法20条にいう  
「詐術」(判例研究) 金山正信(83)

嫡出推定の規定が除外される場合(家族法判例研究50)  
(判例研究)

国府 剛 (94)

没収に代えて追徴すべき賄賂の算定基準時(判例研究)

大谷 實 (107)

訳注 新唐書刑法志(1)(未定稿)(資料)

内田 智雄 (117)

自動車製造者の責任(欠陥部品)(アメリカ不法行為法  
判例訳選6)(資料)

藤倉 皓一郎 (155)

#### 第114号(21巻2号)(1969.10)

形成訴訟における訴えの利益(1)——行政処分取消訴訟を  
中心として——(論説)

上北 武男 (1)

イギリス近代法学教育の形成(1)(論説)

深田 三徳 (30)

政治と道徳——政治哲学序説(5)——(論説)

今井 仙一 (56)

所在不明の夫を被告として提起された金銭給付訴訟に  
おける妻の補助参加の許否(家族法判例研究51)  
(判例研究)

佐藤 義彦 (84)

注釈選挙犯罪(1)(資料)

大谷 實 (91)

訳注 新唐書刑法志(2)(未定稿)(資料)

内田 智雄 (115)

エメット・S・レッドフォード「行政における理想と  
実際」(6・完)(訳)(資料)

君村 昌 (131)  
中村 陽一

レオン・デュギーにおける法の概念と社会法(2・完)  
(資料)

佐々木 允臣 (138)

#### 第115号(21巻3号)(1969.12)

婚姻財産の帰属・利用・分配についての一考察(論説)

佐藤 義彦 (1)

マキァヴェリズムと政治の理想——政治哲学序説(6・完)  
——(論説)

今井 仙一 (25)

婚姻の届書が受理された当時本人が意識を失っていた  
場合と婚姻の届出の効力(家族法判例研究52)  
(判例研究)

前田 正昭 (50)

共産党と関係の深い出版社において党の内部分裂に端  
を發した懲戒解雇を無効とした事例(判例研究)

佐々木 允臣 (54)

訳注 新唐書刑法志(3・完)(未定稿)(資料)

内田 智雄 (62)

注釈選挙犯罪(2)(資料)

大谷 實 (77)

道徳の法的強制に関するH・L・A・ハートの見解  
(資料)

清水 征樹 (91)

代物弁済予約について (資料)	玉井 勲 (110)
<b>第 116 号</b> (21巻4号) (1970.3)	
イギリス近代法学教育の形成(2) (論説)	深田 三徳 ( 1 )
形成訴訟における訴えの利益(2・完)——行政処分取消 訴訟を中心として—— (論説)	上北 武男 ( 29 )
注釈選挙犯罪(3) (資料)	大谷 實 ( 58 )
法的思考方法における二律背反の問題性——W・ フリードマンの指摘と問題点—— (資料)	清水 征樹 (104)
<b>第 117 号</b> (22巻1号) (1970.8)	
兇器準備集合罪 (刑法208条ノ2)の解釈(1) (論説)	大谷 實 ( 1 )
広東コンミュンについての一考察 (論説)	重森 宣雄 ( 18 )
「ギデオン対ウェンライト」事件——貧困者に対する弁護人 の保障—— (アメリカ刑事法判例訳選4) (資料)	山中 俊夫 ( 41 )
権力試論(2)——権力分立論—— (資料)	松下 泰雄 ( 65 )
H・カントロヴィッツの法理論——法の概念を中心 として—— (資料)	坂東 義雄 ( 77 )
公安条例の憲法的考察——京都市公安条例を中心に—— (資料)	渡辺 久丸 ( 99 )
<b>第 118 号</b> (22巻2号) (1970.11)	
イギリス法哲学とラートブルフ法哲学との接触と背離 ——とくにラートブルフの『イギリス法の精神』を めぐって—— (論説)	八木 鉄男 ( 1 )
ロッチン対キャリフォルニア州事件——法の適正な手続と 強制捜索—— (アメリカ刑事法判例訳選5) (資料)	山中 俊夫 ( 18 )
アメリカ法における労働組合の懲戒権(1) (資料)	安枝 英紳 ( 41 )
G・ビュルドーの抵抗権理論 (資料)	畑 安次 ( 59 )
裁判官の良心——憲法第76条3項の解釈を中心にして—— (資料)	渡辺 久丸 ( 80 )
中山研一著「現代刑法学の課題」(書評)	大谷 實 (107)
<b>第 119 号</b> (22巻3号) (1971.3)	
イギリス Jurisprudence の形成過程——とくにJ・ オースティンのGeneral Jurisprudenceを素材 にして—— (論説)	深田 三徳 ( 1 )

- 承継的共同正犯成立の範囲 (判例研究) 大谷 實 (34)  
 長沢 正 範
- ソリダリズムの法理論——その思考方法と論理構造——  
 (資料) 畑 安次 (45)
- 賃貸建物の瑕疵による第三者に対する所有者の責任  
 ——James D. Davisの所説をたどって—— (資料) 玉井 勲 (71)
- アメリカ法における労働組合の懲戒権(2・完) (資料) 安枝 英 紳 (83)

### 第120号 (23巻1号) (1971.9)

- 木下尚江論——平和思想と「宗教的隠遁」をめぐって——  
 (論説) 西田 毅 (1)
- エドモンド・パークの政治指導者論——1770年代における  
 所説を通して—— (論説) 梅津 実 (41)
- 違法な仮差押による損害賠償が認められた事例  
 (判例研究) 上北 武 男 (80)
- G・ドワーキン「臓器移植とイギリス法」——GERALD  
 DWORKIN: The Law Relating to Organ  
 Transplantation in England, The Modern  
 Law Review, Vol. 33, No. 4 (1970), pp. 353.  
 (資料) 大谷 實 (104)

### 第121号 (23巻2号) (1971.12)

- 国際私法の対象としての涉外関係——その機能的理解——  
 (論説) 岡本 善 八 (1)
- 社会連帯主義の法思想——とくに中島重を中心として——  
 (論説) 武 邦 保 (35)
- 地鎮祭事件名古屋高裁判決について——行政処分取消等  
 請求控訴事件 昭和46.5.14—— (判例研究) 渡 辺 久 丸 (64)
- ハロー・オットー「法学における方法と体系」について  
 (資料) 坂東 義 雄 (91)
- 「善隣政策」に関する一考察(1)——互惠通商政策を中心  
 として—— (資料) 平田 忠 輔 (112)

### 第122号 (23巻3号) (1972.3)

- 量刑基準と量刑相場——イギリスにおける議論を素材  
 として—— (論説) 大谷 實 (1)

トマス・ジェファソンにおける寛容思想の展開——政治 における寛容の問題—— (資料)	名古忠行 (20)
法論理について(1)——近代的形式論理としての法論理への 批判的傾向—— (資料)	吉田宜路 (35)
「善隣政策」に関する一考察(2・完) ——互惠通商政策を 中心として—— (資料)	平田忠輔 (61)
<b>第123号 (24巻1号) (1972.5)</b>	
司法審査除外条項と司法部の態度(1)——英国司法審査制の 一側面—— (論説)	釜田泰介 (1)
包括遺贈と不動産所有権取得登記の申請方法 (家族法判例研究53) (判例研究)	宮井忠夫 (24)
借家法1条の2に基づく解約を理由とする家屋の明渡訴訟 において当事者の明示の申立額をこえる立退料の 支払と引換えに明渡請求を認容することを相当と 認めた事例 (判例研究)	村田博史 (31)
権力試論(3)——ロックの二権分立論—— (資料)	松下泰雄 (45)
法論理について(2)——近代的形式論理としての法論理への 批判的傾向—— (資料)	吉田宜路 (59)
大谷實著『人格責任論の研究』 (昭47・慶応通信) (書評)	中山研一 (85)
<b>第124号 (24巻2号) (1972.7) (谷田貝三郎教授追悼号)</b>	
単独親権者の死亡と親権者の指定・変更——家事審判例を 中心として—— (論説)	宮井忠夫 (1)
永小作権の法的特質(1)——永小作権判例の一考察(1) —— (論説)	加藤正男 (41)
アメリカにおける自動車事故の被害者補償に関する研究 ——キートン・プランと裁判遅延—— (論説)	古賀哲夫 (71)
無効な婚姻について追認を認めた事例 (家族法判例研究54) (判例研究)	前田正昭 (110)
「家族間の不法行為責任」(アメリカ不法行為法判例訳選7) (資料)	藤倉皓一郎 (120)
ヨーロッパ特許条約の草案について (資料)	佐藤義彦 (129)
故谷田貝三郎教授略歴および著作目録	(234)

**第125号** (24巻3号) (1972.9)

- 司法審査除外条項と司法部の態度(2・完)——英国司法  
審査制の一側面—— (論説) 釜田泰介 (1)
- 英法のnegligenceに於ける損害賠償の範囲について  
(資料) 田井義信 (49)
- 権力試論(4)——モンテスキューの三権分立論—— (資料) 松下泰雄 (105)

**第126号** (24巻4号) (1973.1)

- グスタフ・ラートブルフの「法哲学における相対主義」  
のナチス・ファシズムへの抵抗の理論 (論説) 渡辺久丸 (1)
- 慰謝料とは別に扶養のための財産分与が認められた事例  
(家族法判例研究55) (判例研究) 宮井忠夫 (39)
- イギリス公務員制度の問題点——フルトン報告についての  
J・ハーヴェイの見解—— (資料) 君村昌 (49)
- フランス憲法学形成期の実証主義——「国民主権」原理に  
関するA・エスマンとL・デュギーの所説の検討——  
(資料) 畑安次 (60)
- 不定期刑論の一考察——第二次大戦後の理論展開を中心  
として—— (資料) 瀬川晃 (88)
- 王明「プロレタリアートと農民の民主主義的独裁の特殊  
な形態としての中国ソビエト」(訳) (資料) 重森宣雄 (120)

**第127号** (24巻5号) (1973.3)

- 寛政改革と京都町奉行所(上)——酒造制限令と口丹波  
騒動—— (論説) 井ヶ田良治 (1)
- ラートブルフ法思想の批判的検討——『社会的法律観』を  
中心に—— (資料) 舟越耿一 (35)
- イギリスにおける精神障害犯罪者の処遇 (資料) 三宅孝之 (71)
- ルソー『ポーランド統治論』(1)  
J. J. Rousseau: Considération sur le gouvernement  
de Pologne, et sur sa réformation projetée. En  
avril 1772. (訳) (資料) 佐々木允臣 (102)

**第128号** (25巻1号) (1974.1)

- 死の判定と人工蘇生術の中断 (論説) 大谷實 (1)
- 革命根拠地建設についての一試論——その形成・発展の  
要因をめぐって—— (論説) 重森宣雄 (27)



未登記建物の所有者が固定資産課税台帳上他人名義で  
登録されているのを承認した場合と民法94条2項の  
類推適用 (判例研究) 吉田真澄 (59)

日本国憲法第9条解釈の検討——佐々木博士の9条解釈の変遷  
を中心として—— (資料) 並河啓后 (72)

### 第129号 (25巻2号) (1974.2)

英法における非財産的損害の賠償(1) (論説) 田井義信 (1)

イギリス近代法の完成期から変容期への問題 (上)  
——ドイツ、アメリカとの比較的視点からする研究  
ノート—— (資料) 深田三徳 (36)

ルソー『ポーランド統治論』(2)

J. J. Rousseau: *Considération sur le gouvernement  
de Pologne, et sur sa réformation projetée*, En  
avril 1772. (訳) (資料) 佐々木允臣 (58)

『道徳感情論』におけるアダム・スミスの法思想——同感の  
原理と自然法の関係について—— (資料) 福田勝 (78)

### 第130号 (25巻3号) (1974.3)

ドイツ地上権の譲渡性とその制限 (論説) 村田博史 (1)

勾留請求または勾留請求却下後の強制的な方法による捜査  
の適否等 (刑事法判例研究) (判例研究) 鈴木教司 (57)

H・カントロヴィッツにおける法解釈学と法社会学  
(資料) 坂東義雄 (67)

RUPERT CROSS, PUNISHMENT, PRISON AND  
THE PUBLIC, 1971.

(The Hamlyn Lectures twenty-third Series)  
(紹介) 大谷實 (78)

### 第131号 (25巻4号) (1974.3)

ザンクト・ガレン修道院所領形成にみる自由農民の  
没落(1)——西洋封建社会成立期の研究のために——  
(論説) 岩野英夫 (1)

相続人の一人が相続に関する遺言書を隠匿し相続人たる  
資格を失ったものと認められた事例・民法第884条  
にいう「相続権を侵害された事実を知った時」の意義  
(家族法判例研究55) (判例研究) 佐藤義彦 (46)

- 警察官が相手方の同意を得ずにショルダーバッグのチャックを開き内容物を検査して証拠を発見・差押えた行為が具体的状況の下で適法とされた事例（刑事法判例研究2）（判例研究） 小早川 義 則 （ 57 ）
- 現代イギリス法理学の動向と情況（資料） 深 田 三 徳 （ 67 ）
- H. L. A. ハート「イギリスにおける法哲学と法理学（1945-1952）」（訳）（資料） 深 田 三 徳 （ 78 ）
- Aprisonäre 考——E・ミューラー＝メルテンスの所説の紹介——（資料） 岩 野 英 夫 （ 89 ）
- 刑訴法335条2項に関する若干の問題——ある判例を中心として——（資料） 吉 利 用 宣 （ 105 ）

### 第132号（26巻1号）（1974.5）

- 行政機関の行為と公平の原則(1)——英国司法部の機能に関する一考察——（論説） 釜 田 泰 介 （ 1 ）
- ラートブルフと自由法論（論説） 舟 越 耿 一 （ 40 ）
- 行為の存在論的構造——人格的行為論概要——（1966）  
（アルトゥール・カウフマン著）（訳）（資料） 上 田 健 二 （ 79 ）

### 第133号（26巻2号）（1974.9）

- 田口卯吉の政治思想（上）（論説） 伊 藤 彌 彦 （ 1 ）
- 原裁判後に作成された資料を含めれば勾留理由の存在が疑問となるが，原裁判当時に存在した資料によれば勾留理由があるとして，準抗告を棄却した事例（刑事判例研究）（判例研究） 鈴 木 教 司 （ 37 ）
- 1962年刑法草案における錯誤規定（1964）  
（アルトゥール・カウフマン著）（訳）（資料） 上 田 健 二 （ 45 ）
- F・ポロック著「自然法の歴史」（訳）（資料） 深 田 三 徳 （ 81 ）

### 第134号（26巻3号）（1975.1）

- 行政機関の行為と公平の原則(2)——英国司法部の機能に関する一考察——（論説） 釜 田 泰 介 （ 1 ）
- 幸徳秋水の天皇観（論説） 辻 野 功 （ 53 ）
- 構成要件，正当化事由および錯誤（1956）  
（アルトゥール・カウフマン著）（訳）（資料） 上 田 健 二 （ 85 ）

S&B・ウェブに於けるフェデラリズムに関する  
一考察(Ⅰ)(資料)

中岡俊彦(109)

**第135号(26巻4号)(1975.3)**

寛政改革と京都町奉行所(中)——酒造制限令と口丹波騒動——  
(論説)

井ヶ田良治(1)

認知の訴の出訴期間経過後になされた父子関係存在確認  
の訴の許否(家族法判例研究57)(判例研究)

前田正昭(64)

特定の場所に対する捜査令状を執行するに当り、その  
場所に居合わせた者の所持品を調べることの適否  
(消極)(判例研究)

山本正樹(73)

人身保護法による精神病院不当強制入院「患者」  
の救済——その現状と批判——(資料)

長沢正範(84)

**第136号(27巻1号)(1975.6)**

行政機関の行為と公平の原則(3)——英国司法部の機能に  
関する一考察——(論説)

釜田泰介(1)

田口卯吉の政治思想(下)(論説)

伊藤彌彦(62)

親権行使者を定める協議が成立していないにもかかわらず、  
成立したものごとく離婚届書に記載され、そのまま  
受理された協議離婚の効力・その他(家族法判例研  
究58)(判例研究)

佐藤義彦(95)

未解放部落と入会権——京都府亀岡市保津村の場合——  
(資料)

井ヶ田良治(101)

イギリス治安判事協会Mentally Abnormal Offenders  
に関する覚え書(1973年7月)について(資料)

三宅孝之(145)

**第137号(27巻2号)(1975.9)**

19世紀のスコットランドにおける法哲学の特色の背景  
——序説——(論説)

八木鉄男(1)

ザンクト・ガレン修道院所領形成にみる自由農民の  
没落(2)——西洋封建社会成立期の研究のために——  
(論説)

岩野英夫(20)

占有権確認の訴えと訴えの利益の有無(消極)(判例研究)

上北武男(53)

中共江蘇省委員会「中国共産党の当面の任務と党指導部  
の誤りについての決議」(訳)(資料)

重森宣雄(68)

- 地方公務員に対する退職勧奨について——下関商教諭退職  
勧奨事件を素材にして—— (資料) 舟越 耿一 (80)
- 鑑定と経験則——事実認定過程における当事者権保障の見地  
から—— (資料) 木村 守 (109)

### 第138号 (27巻3号) (1975.12)

- 一般規範としての法律概念 (論説) 山本 浩三 (1)
- 大唐六典の補訂について——ある批評に答えて——  
(論説) 内田 智雄 (24)
- 酒酔い運転罪につき確定した略式命令の既判力は、  
例外的に、公訴事実を同一にする無免許運転罪に  
及ばないか (判例研究) 高田 昭正 (34)
- 日系アメリカ人事件の研究(1) (資料) 藤倉 皓一郎 (45)  
釜田 泰介
- ヨーロッパ共同体特許法 (資料) 佐藤 義彦 (92)

### 第139号 (27巻4号) (1976.3)

- ヨーロッパ議会の権限とその実際——最近における二、三の  
ケースをめぐって—— (論説) 金丸 輝雄 (1)
- 認知訴訟の出訴期間後になされた父子関係存在確認判決  
と戸籍の訂正 (家族法判例研究59) (判例研究) 宮井 忠夫 (36)
- 日系アメリカ人事件の研究(2) (資料) 藤倉 皓一郎 (46)  
釜田 泰介
- 付審判請求制度に関する一視角(1) (資料) 吉 利 用 宣 (68)
- S&B・ウェッブに於けるフェデラリズムに関する  
一考察 (Ⅱ完) (資料) 中岡 俊彦 (105)
- 教員の時間外労働について——給特法の私学への導入問題に  
関連して—— (資料) 高田 晃 (130)

### 第140号 (28巻1号) (1976.5)

- アメリカ環境訴訟における原告適格理論の動向——Sierra  
Club v. Morton判決を中心として—— (論説) 田井 義信 (1)
- 行政機関の行為と公平の原則 (4・完) ——英国司法部の  
機能に関する一考察—— (論説) 釜田 泰介 (42)
- 日系アメリカ人事件の研究(3) (資料) 藤倉 皓一郎 (79)  
釜田 泰介

Sierra Club v. Morton, 405 U. S. 727(April 19,  
1972) (訳) (資料)

田井義信 (104)

イギリスの未遂犯についての一考察 (資料)

藤岡一郎 (119)

### 第141号 (28巻2号) (1976.7)

プライバシーの権利——アメリカ憲法における最近の動向——  
(サミュエル・マーミン著) (訳) (論説)

釜田泰介 (1)

商法511条2項の保証の商行為性——比較法方法論の認識の  
下に—— (論説)

手塚尚男 (28)

対外政策分析序説——概念枠組の比較と展望—— (論説)

野林健 (84)

いわゆる公訴権濫用の主張が排斥された事例——チップ  
水俣病補償請求関連傷害事件第一審判決—— (判例研究)

振津隆行 (117)

付審判請求制度に関する一視角(2) (資料)

吉利用宣 (127)

鑑定と経験則(2・完) ——事実認定過程における当事者権保  
障の見地から—— (資料)

木村守 (175)

### 第142号 (28巻3号) (1976.9)

漢代の宮刑について(1) (論説)

内田智雄 (1)

ヨーロッパ経済共同体域内における特許権の行使と消  
尽について ——共同体特許権における単一性の原則と  
その限界(1) —— (論説)

佐藤義彦 (25)

スタンリー・ボールドウィンとイギリス保守党の再建  
(1)——1922年カールトン・クラブ集会に至る政治過程——  
(論説)

梅津実 (73)

譲渡担保と即時取得(1) (論説)

吉田真澄 (124)

特定の相続財産を特定の共同相続人に相続させる旨の  
遺言の趣旨ほか(家族法判例研究60) (判例研究)

国府剛 (148)

日系アメリカ人事件の研究(4) (資料)

藤倉皓一郎 (163)  
釜田泰介

貧困と裁判を受ける権利——Boddie v. Connecticut——  
(資料)

釜田泰介 (170)

付審判請求制度に関する一視角(3・完) (資料)

吉利用宣 (190)

レオ・シュトラウス「自然法と歴史」(1) (訳) (資料)

谷川昌幸 (218)  
富沢克

## 第143号 (28巻4号) (1976.11)

アメリカ憲法と弁護人依頼権

(サミュエル・マーミン著) (訳) (論説)

釜田泰介 (1)

スタンリー・ボールドウィンとイギリス保守党の

再建(2・完)——1922年カールトン・クラブ集會に至る  
政治過程—— (論説)

梅津 実 (48)

維新と人心をめぐる一試見 (論説)

伊藤 彌彦 (93)

労働組合員の「権利章典 (Bill of Rights)」(1)

——ランドラム・グリフィン法第101条(a)(1)「平等の権利」  
をめぐる—— (論説)

安枝 英 紳 (127)

いつわりの嫡出子出生届によっても養子縁組は成立するか

(家族法判例研究61) (判例研究)

前田 正 昭 (153)

レオ・シュトラウス「自然法と歴史」(2)(訳) (資料)

谷川 昌 幸 (163)  
富 沢 克

博士学位請求論文審査報告 (資料)

(181)

An American Historian's Love Affair with the  
Royal Navy (資料)

Arthur Marder (1)

## 第144号 (28巻5号) (1977.1)

刑事訴訟法の基礎理論に関するノート(1)——松尾・鈴木  
論争を契機として—— (論説)

山中 俊 夫 (1)

J・ベンサム法の理論(1)——『法一般論』を中心にして——  
(論説)

深田 三 徳 (15)

アメリカにおける司法審査制度——その正当性と限界——  
(サミュエル・マーミン著) (訳) (論説)

釜田 泰 介 (52)

現象学的法哲学の課題 (論説)

駒 城 鎮 一 (65)

性による差別とアメリカ憲法(1) (資料)

釜田 泰 介 (129)

ルソーと自然法思想 (資料)

富 沢 克 (164)

## 第145号 (28巻6号) (1977.3)

漢代の刑罰と宮刑について(2)——前稿「漢代の宮刑について」  
を改題—— (論説)

内田 智 雄 (1)

J・ベンサム法の理論(2)——『法一般論』を中心にして——  
(論説)

深田 三 徳 (49)

数個の常習累犯窃盜行為と補強証拠の範囲 (判例研究)

吉 利 用 宣 (90)

公安条例と道路交通法——徳島市公安条例についての最高裁 大法廷判決——(判例研究)	武田 誠	(107)
性による差別とアメリカ憲法(2)(資料)	釜田 泰介	(117)
レオ・シュトラウス「自然法と歴史」(3・完)(訳) (資料)	谷川 昌幸 宮沢 克	(147)

### 第146号(29巻1号)(1977.6)

刑事訴訟法の基礎理論に関するノート(2)——訴因と公訴 事実——(論説)	山中 俊夫	(1)
労働組合員の「権利章典(Bill of Rights)」(2) ——ランドラム・グリフィン法第101条(a)(1)「平等の権利」 をめぐって——(論説)	安枝 英紳	(14)
民法第1041条第1項による目的物返還義務免脱の要件・妻 からの寄与分請求を否定した一事例(家族法判例研究62) (判例研究)	佐藤 義彦	(70)
土地と地上建物の各所有者の間に親子・夫婦の関係が あるときと法定地上権の成否(判例研究)	村田 博史	(89)
性による差別とアメリカ憲法(3・完)(資料)	釜田 泰介	(101)
ハード・ケースおよび法原理をめぐる最近の議論につい て(1)(資料)	佐々木 允臣	(134)

### 第147号(29巻2号)(1977.7)

イギリスにおける1918年総選挙とその意義について (論説)	梅津 実	(1)
刑事訴訟法の基礎理論に関するノート(3)——「公訴の対象」 と「審判の対象」——(論説)	山中 俊夫	(44)
労働組合員の「権利章典(Bill of Rights)」(3・完) ——ランドラム・グリフィン法第101条(a)(1)「平等の権利」 をめぐって——(論説)	安枝 英紳	(56)
訴因変更の時期的限界——公訴事実の同一性を害しない範囲 で訴因変更が許可されなかった事例——(判例研究)	小山 雅亀	(88)
「定期間居住要件」と平等保護(1)——Shapiro 判決から Sosna 判決まで——(資料)	釜田 泰介	(96)

## 第148号 (29巻3号) (1977.9)

- 明治14年の政変と「人心」教導構想(上)——福沢諭吉の時代から井上毅の時代へ——(論説) 伊藤 彌彦 (1)
- 「定期間居住要件」と平等保護(2・完)——Shapiro判決からSosna判決まで——(資料) 釜田 泰介 (40)
- ハード・ケースおよび法原理をめぐる最近の議論について(2)(資料) 佐々木 允臣 (75)
- 社会・人文系のための統計パッケージ——OSIRIS, SPSSを中心に——(論説) 安田 聖 (1)  
三宅 一郎

## 第149号 (29巻4号) (1977.11)

- わが国際私法事件におけるEEC裁判管轄条約(1)(論説) 岡本 善八 (1)
- いわゆる根仮登記担保権の極度額(判例研究) 吉田 真澄 (34)
- 特別縁故者に分与されなかった相続財産の国庫帰属の時期および相続財産管理人の代理権消滅の時期(家族法判例研究63)(判例研究) 前田 正昭 (50)
- 啓蒙期自然法の刑法思想の一断面——プーフエンドルフとin dubio pro reo——(資料) 駒城 鎮一 (60)

## 第150号 (29巻5号) (1978.1)

- 商業登記の消極的公示力をめぐる一問題(論説) 小橋 一郎 (1)
- わが国際私法事件におけるEEC裁判管轄条約(2)(論説) 岡本 善八 (15)
- レオン・デュギーの実証主義——ルソー批判を中心として——(論説) 畑 安次 (49)
- 「過失犯と訴因の特定」——さつまあげ中毒事件控訴審判決——(判例研究) 小山 雅亀 (85)
- ハード・ケースおよび法原理をめぐる最近の議論について(3)(資料) 佐々木 允臣 (93)